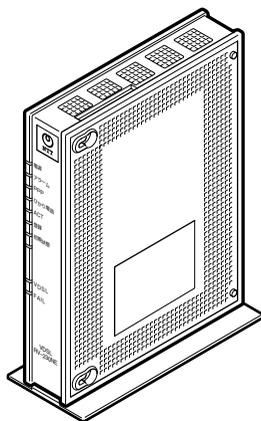


RV-230NE

取扱説明書

このたびは、RV-230NEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ず お読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧ください。本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

警告

設置場所

● 風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



こんなときは

● 発煙した場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などがに入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。



● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



● 破損した場合

万一、落したり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



禁止事項

● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



警告

- **商用電源以外の使用禁止**
AC100 ± 10 V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。


- **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

- **分解改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- **ぬらすことの禁止**
本商品やケーブル、モジュージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
漏電して火災・感電の原因となります。



- **ぬれた手でのご操作禁止**
ぬれた手で本商品やケーブル、モジュージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

- **異物を入れないための注意**
本商品やケーブル、モジュージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。


- **本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。**
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**


 **警 告**

- 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。 
電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。 
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル、モジュージャックや電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度80%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・ 横向きに寝かせる
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

● 横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



注意

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



禁止事項

- 乗ることの禁止
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



電源

- プラグの取り扱い注意
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源コンセントを抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時の注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



注 意

その他のご注意

- **移動させるときの注意**

移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- **雷のときの注意**

落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。

落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



- **本書に従って接続してください。**

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。
また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用し、背面が下になるように設置してください。
転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- 電気製品・AV・電子機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1 m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP

お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響をおよぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話できません。
- 「まるごと設定ツール」により本商品に設定を行うと、本商品が再起動します。ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「まるごと設定ツール」から本商品を再起動できません。ひかり電話のご使用やパソコンなどの通信をしていない状態で、本商品の設定を行ってください。
- 「Web 設定」や電話機から設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。

- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」での「登録」ボタンなど本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 本商品では次の場合、アナログポートを利用したファクス送信中／受信中やアナログモデム通信中に、キャッチホンなどによる割り込み音が入ると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーになることがあります。
 - ・ キャッチホンサービスをご利用の場合
 - ・ 複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」でアナログポートに対する割り込み音通知の設定を「使用する」にしてご利用の場合
- 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください）。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却など）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順に従って実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 54 Mbps（規格値）や最大 11 Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11a の屋外での使用は電波法により禁止されています。

電波に関するご注意
(SC-32NE 装着時にお読みください)

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品^(*)は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品^(*)と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品^(*)をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品^(*)を 5.2GHz 帯で使用する場合は、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz 帯の電波を無効にしてください。
- 本商品^(*)は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本商品^(*)を分解／改造すること
- 本商品^(*)は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品^(*)は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

本商品^(*)に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
■ ■ ■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品^(*)」はここでは、SC-32NE 装着時を示します。

**無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(SC-32NE 装着時にお読みください)**

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所へ届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、不正にひかり電話を利用する（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、「8-9 お客様サポートのご案内」（●8-27 ページ）記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
ご利用前の注意事項	13
目次	17
「機能詳細ガイド」目次	20
マニュアルの読み進めかた	22
「RV-23ONE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた	23

1 章 最初に確認する

1-1 セットを確認してください	1-2
1-2 各部の名前	1-4
1-3 あらかじめ確認してください	1-7
パソコンの準備	1-7
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備	1-7

2 章 本商品を設置する

2-1 設置・接続	2-2
本商品を設置する	2-2
スタンドを付ける（縦置きの場合）	2-2
壁に取り付ける（壁掛けの場合）	2-3
回線に接続する	2-4
電話機をひかり電話のみで接続する場合	2-4
アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA をひかり電話以外でも 使用する場合	2-6
2-2 設定方法を確認してください	2-10

3 章 ひかり電話の使いかた

3-1 ひかり電話の使いかた	3-2
ひかり電話のかけかた	3-2
電話の受けかた	3-3
ひかり電話で発着信できるサービス	3-4
ひかり電話で接続できる番号	3-4
内線通話	3-5
内線転送	3-5
3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する	3-6
キャッチホン	3-6
ナンバー・ディスプレイ	3-7
発信者情報（番号）の通知について	3-8
複数チャネルサービス「ダブルチャネル」を利用する	3-9
追加番号サービス「マイナンバー」を利用する	3-9

3-3	パソコンでひかり電話の設定をする	3-10
	ひかり電話の設定をするには	3-10
	内線番号設定	3-18
	ひかり電話の電話番号	3-18
	個別着信	3-18
	一斉着信	3-19
	着信鳴り分け	3-19
	ダイヤルイン	3-19
	優先着信ポート	3-20
	指定着信機能	3-21
3-4	電話機でひかり電話の設定をする	3-22
	電話機からひかり電話の設定をするには	3-22
3-5	複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する	3-24
	ファクスと電話で使い分けたいときには	3-24
	事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには	3-25
	2世帯で電話を鳴り分けて使うには	3-26
	ひかり電話に対応した無線IP端末を利用したいときには	3-27
	追加番号サービス「マイナンバー」を利用せず指定着信機能を 利用して特定のアナログ端末で着信したいときには	3-28
4章	インターネット接続の設定をする	
4-1	設定の流れ	4-2
4-2	パソコンのネットワーク設定 (Windows® XP)	4-3
	パソコンのネットワークの設定をする (Windows® XP)	4-3
	パソコンとの接続を確認する (Windows® XP)	4-4
	Webブラウザの設定をする (Windows® 共通)	4-5
	JavaScript® の設定をする (Windows® 共通)	4-6
4-3	本商品の設定をする	4-8
4-4	インターネットに接続する	4-11
4-5	フレッツ・スクウェアに接続する	4-12
5章	無線LANのご利用について	
5-1	無線LAN設定の流れ	5-2
5-2	本商品への無線LANカードの取り付け	5-3
5-3	本商品へ無線LANの設定をする	5-4
5-4	パソコンへ無線LANカードの設定をする	5-5
	インストール	5-5
	インストール完了の確認	5-7
	無線LANアクセスポイントへの無線接続	5-9
5-5	「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」の設定をする	5-11

6章 本商品のバージョンアップ

- 6-1 本商品のバージョンアップの流れ……………6-2
- 6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする……………6-3
 - バージョンアップお知らせ機能の機能概要……………6-3
 - バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する……………6-4
 - 最新のファームウェアがあるか確認する（[手動更新]の場合）……………6-5
 - バージョンアップ方法（[手動更新]の場合）……………6-8
- 6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードして
 - バージョンアップする……………6-11
 - 「Web設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」
からファイルを指定してバージョンアップする……………6-11

7章 故障かな？と思ったら

- 7-1 設置に関するトラブル……………7-2
- 7-2 ご利用開始後のトラブル……………7-7

8章 付録

- 8-1 パソコンのネットワーク設定……………8-2
 - Windows® 2000をご利用の場合……………8-3
 - Windows® Me/98をご利用の場合……………8-5
 - Mac OS Xをご利用の場合……………8-7
 - Mac OS 9.x/8.xをご利用の場合……………8-8
 - JavaScript® の設定をする（Mac OS）……………8-9
- 8-2 無線 IP 端末の設定をする……………8-10
- 8-3 本商品の初期化……………8-11
- 8-4 ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について……………8-12
 - 050IP 電話およびフレッツ・セーフティとの同時利用方法について……………8-12
 - 「フレッツの IP-VPN サービス」との同時利用方法について……………8-14
 - 「M フレッツホスト（NTT 東日本）」との同時利用方法について……………8-14
- 8-5 用語集……………8-15
- 8-6 索引……………8-21
- 8-7 仕様一覧……………8-23
- 8-8 インタフェース……………8-25
- 8-9 お客様サポートのご案内……………8-27

「機能詳細ガイド」目次

付属の「RV-230NE 専用 CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、23 ページをご覧ください。

1. 機能詳細説明

機能一覧

- －電話機能－
 - ひかり電話
- －ルータ機能－
 - IP マスカレード
 - 静的 IP マスカレード
 - 静的 NAT
 - 静的ルーティング
 - パケットフィルタリング
 - ステートフル パケット インスペクション
 - DHCP サーバ
 - Proxy DNS
 - 不正アクセス検出
 - UPnP
 - DMZ
 - RIP
- －無線機能－
 - IEEE802.11a 無線 LAN
 - IEEE802.11b 無線 LAN
 - IEEE802.11g 無線 LAN
 - 暗号化
 - MAC アドレスフィルタリング機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
- －WAN 側機能－
 - PPPoE ブリッジ
 - PPPoE マルチセッション
 - 複数固定 IP サービス
 - 無通信監視タイマ
 - VPN パススルー
 - PPP キーブアライブ
- －その他の機能－
 - 機器設定用パスワードの変更
 - 時刻設定
 - ファームウェア更新
 - 情報表示 (装置情報、状態表示)
 - 通信情報ログ

2. 設定例

設定例

- －ブリッジモード－
 - ブリッジモード
 - フレッツ接続ツール紹介
- －フレッツ関連－
 - フレッツ・スクウェアで利用するには
 - フレッツ・コネクで利用するには
- －その他の設定例－
 - 複数固定 IP サービスを利用するには
 - ネットワークゲームをするには
 - 外部にサーバを公開するには
 - ＜パソコンの設定＞
 - ・ Windows® XP の場合
 - ・ Windows® 2000 の場合
 - ・ Windows® Me/98 の場合
 - ・ Mac OS の場合
 - ＜本商品の設定＞
 - ・ 「Web 設定」で設定する
 - ファイアウォールを設定するには
 - PPPoE マルチセッション環境でサーバを公開するには

3. Web 設定

- 「Web 設定」の使いかた
 - 起動のしかた
 - トップページ
 - 登録のしかた
- －基本設定－
 - 接続先の選択設定
 - 接続先設定
- －電話設定－
 - ひかり電話共通設定
 - 内線番号設定
 - ・ 内線設定 (アナログ端末)
 - ・ 内線設定 (IP 端末)
- －無線 LAN 設定－
 - 無線 LAN 設定
 - MAC アドレスフィルタリング

－詳細設定－

- LAN 側設定
- DHCP 手動設定
- パケットフィルタ設定
- 静的IP マスカレード設定
- 静的NAT 設定
- 静的ルーティング設定
- 高度な設定

－メンテナンス－

- 機器設定用パスワードの変更
- 時刻設定
- 設定値の保存&復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PING テスト

－情報－

- 現在の状態
- 通信情報ログ
- UPnP の状態

4. 無線機能の使いかた

無線機能の使いかた

- 無線 LAN カードの使いかた
- 無線セキュリティ
- 〈「Web 設定」で設定する〉

－無線 LAN 設定－

- 無線 LAN 設定
- MAC アドレスフィルタリング

5. ひかり電話の使いかた

ひかり電話の使いかた

- 本商品に接続できる機器について
- アナログ端末を接続するには
- IP 端末（音声）を接続するには
- IP 端末（映像）を接続するには
- 〈「Web 設定」で設定する〉

－電話設定－

- ひかり電話共通設定
- 内線番号設定
 - ・内線設定（アナログ端末）
 - ・内線設定（IP 端末）

〈電話機で設定する〉

- ・電話機からひかり電話の設定をするには

6. その他（付録）

その他（付録）

用語集

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

- **最初にお読みください（冊子）**

本商品の接続、ひかり電話、インターネット、無線 LAN の設定をわかりやすく説明しています。

- **取扱説明書（本書）**

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

- **機能詳細ガイド（：HTML ファイル）**

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■ 取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、インターネットに接続するまでの流れは、下記ようになります。

付属品の確認をします

「1-1 セットを確認してください」



取り付けます

「2 章 本商品を設置する」



ひかり電話を利用します

「3 章 ひかり電話の使いかた」



インターネットに接続します

「4 章 インターネット接続の設定をする」



無線 LAN の設定をします

「5 章 無線 LAN のご利用について」

※ 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

「RV-230NE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1

「RV-230NE 専用 CD-ROM」をパソコンにセットする

※Windows®をご利用の場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラが自動的に起動します。

「まるごと設定ツール」をインストールすると、「機能詳細ガイド」も自動的にインストールされます。その場合は、[スタート]－[すべてのプログラム] (Windows® 2000では [プログラム])－[RV-230NE まるごと設定ツール]－[機能詳細ガイド] をクリックしてください。

※「まるごと設定ツール」をご利用になれる OS は、Windows® XP/2000 です。

※「機能詳細ガイド」を CD-ROM からご覧になる場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラの [キャンセル] をクリックしてインストーラを終了します。

2

Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system の略です。

Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。

本書では、Windows® 98 と Windows® 98SE を含めて、Windows® 98 と表記しています。

Netscape® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

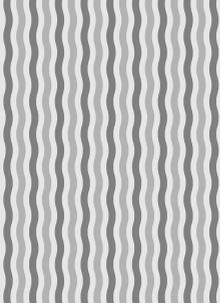
Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

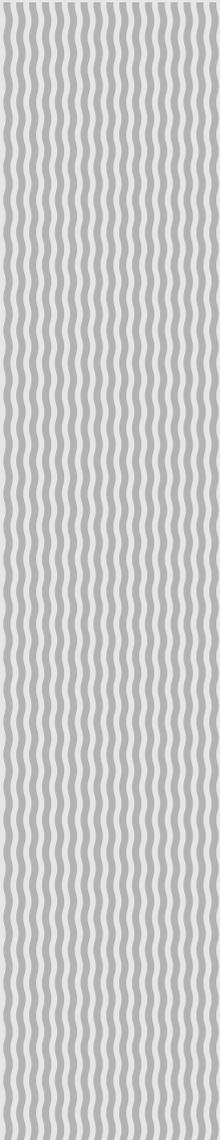
付属品の「RV-230NE 専用 CD-ROM」は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。

付属品の「RV-230NE 専用 CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合には限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。



1

最初に確認する



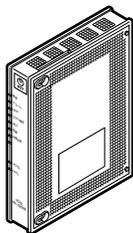
1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

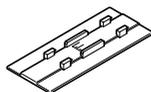
- 1-1 セットを確認してください……………1-2
- 1-2 各部の名前……………1-4
- 1-3 あらかじめ確認してください……………1-7

1-1 セットを確認してください

■本体



RV-230NE (1台)



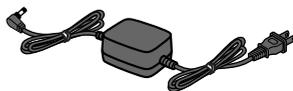
スタンド (1台)

■付属品



LANケーブル

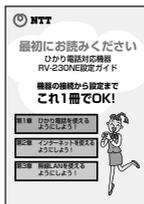
LANケーブル (1本) (約2m / 緑色)



電源アダプタ (1個)



取扱説明書
(本書1冊)



最初にお読みください
(1冊)



RV-230NE
専用 CD-ROM (1枚)



壁掛け設置用ネジ
(2本 / 16mm)



壁掛け用ネジ位置合わせシート
(1枚)



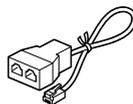
モジュラー
ケーブル

モジュラーケーブル VDSL LINE 用
(1本 / 約3m / 灰色)



インラインフィルタ (1個)

モジュラーケーブル(1本 / 約30cm / 白色) モジュラーケーブル(1本 / 約20cm / 白色)



2分岐モジュラージャック (1個)

モジュラーケーブル2分岐モジュラージャック用
(1本 / 約20cm / 白色)

※インラインフィルタ、2分岐モジュラージャックについては、「アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAをひかり電話以外でも使用する場合」(●2-6ページ)で使用します。

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

■お客様にご用意いただくもの

<ひかり電話のご利用に必要なもの>



電話機

※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「☎」や「☎」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などを直接接続できません。

※電話機コードもご準備ください。

●開通のご案内

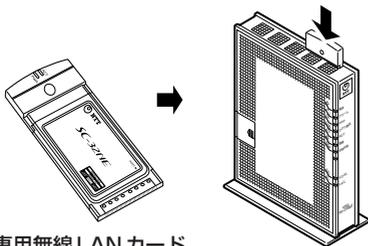
<インターネット接続および、ひかり電話の設定変更に必要なもの>



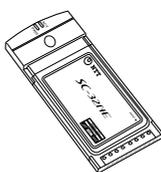
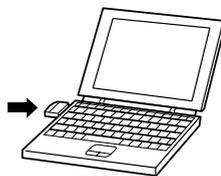
LANポートを持ったパソコン

●プロバイダの設定情報

<無線LANの設定に必要なもの>



※本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

専用無線LANカード
SC-32NESC-32NE
専用CD-ROM (青)専用無線LANカード
SC-32NE ※ 1Card Bus対応の
PCカードスロットを
持ったパソコン ※ 2

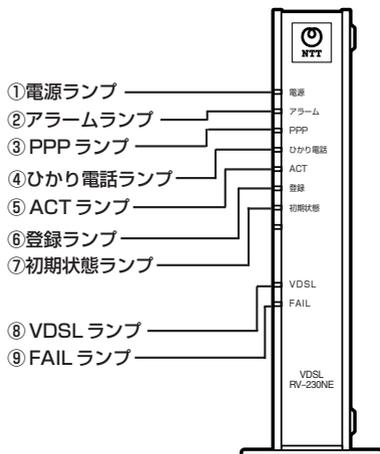
※ 1 無線LAN端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OSはWindows® XP/2000に対応しています。Windows® Me/98/95およびMac OSには対応しておりません。

※ 2 「まるごと設定ツール」で設定する場合はLANポートが必要です。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① 電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
② アラームランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 (「7章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
③ PPPランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中/着信中/呼び出し中です。
⑤ ACTランプ	—	消灯	ひかり電話機能/ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能/ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能/ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定が失敗しました(認証エラー)。
点滅		ひかり電話の設定が失敗しました(その他のエラー)。	
⑦ 初期状態ランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態(初期化された状態)です。※ 1 ※ 2
		点滅	IPアドレスが重複しています。 (「7-2 ご利用開始後のトラブル」(●7-7 ページ)を参照してください。)

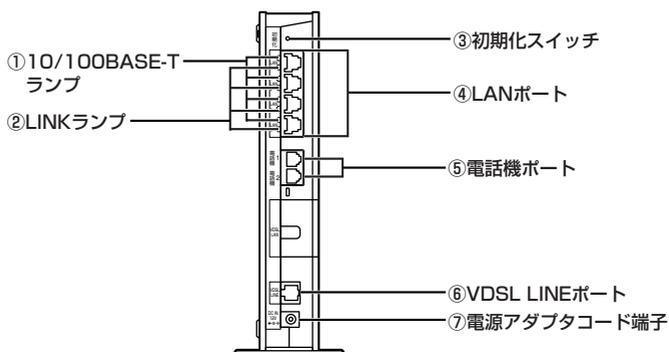
ランプの名称	表示 (色)		状態
⑧ VDSL ランプ	—	消灯	VDSL 回線の接続動作停止中 または 装置障害です。「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページを参照してください。)
	緑	点灯	VDSL 回線のリンクが確立しています。
		点滅	VDSL 回線のトレーニング中および回線未接続です。
⑨ FAIL ランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページを参照してください。)

- ※ 1 ファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプが赤点灯、初期状態ランプが橙点灯します。
- ※ 2 本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「まるごと設定ツール」や「Web 設定」、電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと初期状態ランプは消灯します。

1

最初に確認する

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		機能説明
① 10/100BASE-T ランプ (4個)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4個)	—	消灯	LANが利用できません。
	緑	点灯	LANが利用できます。
		点滅	LANでデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
④ LANポート	LAN1 ~ LAN4	LANケーブル (付属品など) を使用してパソコンと接続するためのポートです。
⑤ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 (電話機コードは付属していません)
⑥ VDSL LINEポート	VDSL LINE	VDSL 回線と接続するためのポートです。
⑦ 電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

● LAN ポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（100BASE-TX または 10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめ準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書に従って正しく行ってください。

● ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたまましていると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

フレッツ接続ツールをご利用になっていた場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。

● 無線 LAN をご利用になるには

本商品とパソコンに装着する無線 LAN カードとして SC-32NE が必要です。SC-32NE は、下記の OS に対応しています。
Windows® XP/2000

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記の OS に対応しています。

・本商品の LAN ポートに接続する場合

Windows® XP/2000/Me/98 および Mac OS X/9.x/8.x

・本商品に専用無線 LAN カードを装着し、パソコンに専用無線 LAN カードを装着して本商品に接続する場合（「まるごと設定ツール」を利用する場合も含まれます）

Windows® XP/2000

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。

Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。

Windows® XP/2000/Me/98 の場合

・ Microsoft® Internet Explorer Ver.6.0 SP1 以上に対応

Mac OS X 10.1/Mac OS 9.x/8.x の場合

・ Netscape® Ver.7.02 以上に対応

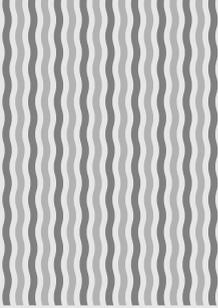
Mac OS X 10.2 以上の場合

・ Netscape® Ver.7.1 以上に対応

1

最初に確認する

-
- Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。(☛4-5 ページ)
 - お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript®」を有効にしてください。
(Windows® の場合 ☛4-6 ページ、Mac OS の場合 ☛8-9 ページ)
 - ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの [インターネットオプション] の [接続] で [ダイヤルしない] を選択してください。(☛4-5 ページ)
 - お使いの Web ブラウザによっては、「Web 設定」の画面で [閉じる] をクリックしてもウィンドウが閉じないことがあります。メニューの [ファイル] から [ウィンドウを閉じる] または [閉じる] を選択して閉じてください。
 - お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
 - Web ブラウザの「戻る」、「進む」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
- ※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。
- RV-23ONE 専用 CD-ROM (まるごと設定ツール) の動作環境
OS : Windows® XP/2000
Web ブラウザ : Internet Explorer 6.0 SP1 以上
ハードディスクの空き容量 : 30MB 以上を推奨
Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
メモリ : 64MB 以上 画面 : 800 × 600 ピクセル以上の領域指定
※ 「まるごと設定ツール」を Windows® XP/2000 でインストールまたは使用する場合は、管理者権限を持つユーザー (Administrator など) でログオンしてください。
 - 「まるごと設定ツール」をご使用になる際のご注意 :
 - ・ 「まるごと設定ツール」はインストール時に 2 つ以上の LAN ボード (無線 LAN または LAN カード) が装着されたパソコンの設定はサポートしていません。
 - ・ Windows® の場合、インターネットオプションの「LAN の設定」でプロキシサーバを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。
 - ・ ひかり電話使用中、および通話使用後一定時間は、「まるごと設定ツール」での設定はできません。ひかり電話を使用していない状態で設定を行ってください。
 - ・ 本商品のバージョンアップが行われている場合や、本商品の再起動を行っている場合は、本商品への設定はされません。



2

本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

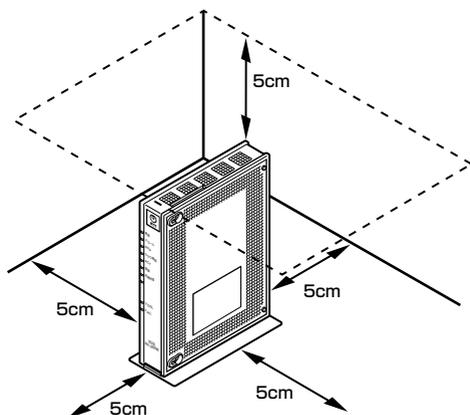
2

- 2-1 設置・接続2-2
- 2-2 設定方法を確認してください2-10

2-1 設置・接続

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



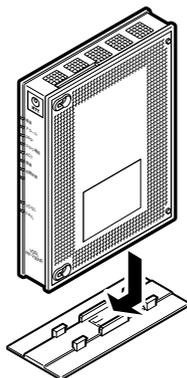
⚠ 注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付ける（縦置きの場合）

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



⚠ 注意

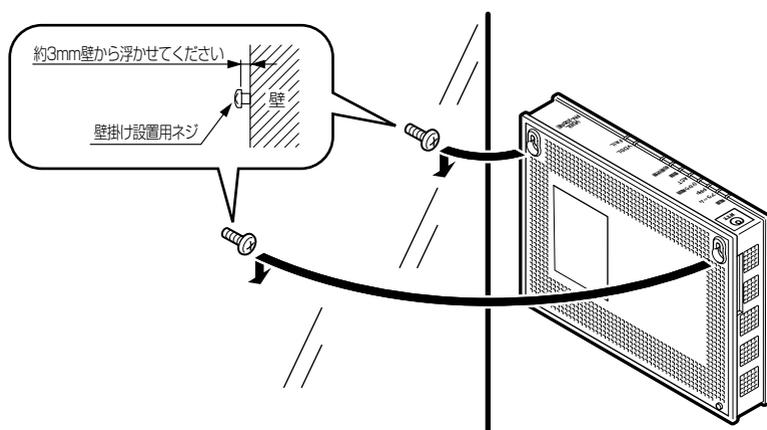
本商品は横置きでの使用はできません。

壁に取り付ける（壁掛けの場合）

図のように壁に取り付けます。

- ①あらかじめ付属の壁掛け用ネジ位置合わせシートに合わせて、付属の壁掛け設置用ネジを壁2箇所に取り付けます。このときネジは最後まで締め込まないで壁から約3mmの隙間を空けて締め込みます。
- ②壁に途中まで締め込んだネジに本商品を背面が下になるように取り付けます。本商品側面にある取り付け穴をはめ込み、上側から下側に向けてスライドさせて固定させます。この時、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

壁掛け後に本商品がガタつくようでしたら、本商品を壁からはずして壁に取り付けたネジを再度締め込み、本商品がガタつかないように調整してください。



2

本商品を設置する

STOP

お願い

- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを装着してください。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

回線に接続する

本商品を回線に接続します。

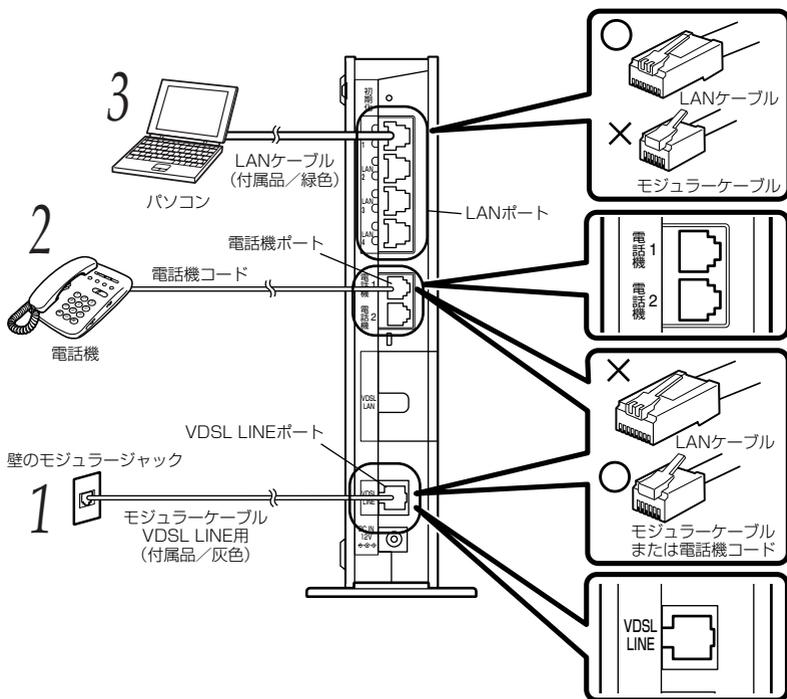
ご使用の環境によって接続方法が異なります。ご使用の環境にあわせて接続してください。

- 電話機をひかり電話のみで接続する場合（☑ 下記）
- アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA をひかり電話以外でも使用する場合（☑ 2-6 ページ）

電話機をひかり電話のみで接続する場合

1 壁のモジュラージャックと接続する

本商品の VDSL LINE ポートと壁のモジュラージャックを、モジュラーケーブル（VDSL LINE 用（灰色））で接続します。



2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

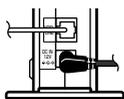
3 パソコンを接続する

本商品の LAN ポートとパソコンを、LAN ケーブル（緑色）で接続します。パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

4

電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

**警告**

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5

電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

6

ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））



ハンドセットから「ピーピーピーピー」という音が聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「Web 設定」や「まるごと設定ツール」、電話機から本商品のバージョンアップを行ってください。

電話機でバージョンアップを行う場合は電話機のダイヤルボタンを「**⊗** **⊗** **①** **①**」と押します。

バージョンアップ中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。

（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」「バージョンアップ方法（[手動更新]の場合）」（☛6-8 ページ）を参照してください。）

2

本商品を設置する

**お知らせ**

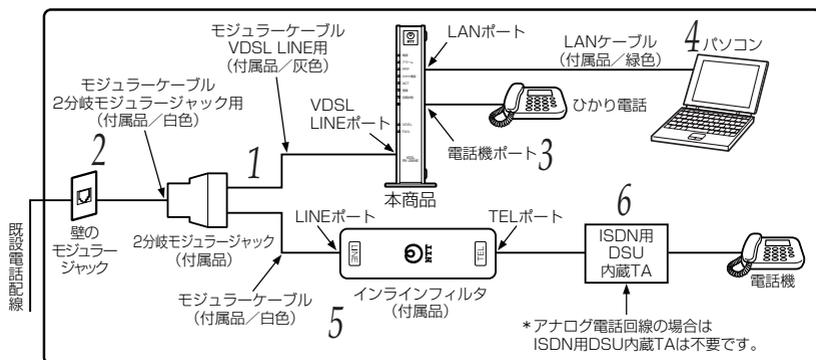
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「**G**」または「**Ⓜ**」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などを直接接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプ、VDSLランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章 故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。
- 「まるごと設定ツール」を使用する場合は、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。

アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA をひかり電話以外でも使用する場合

<1つのモジュラージャックから VDSL 回線と電話回線（アナログまたは ISDN）を同時に使用する>

1 2分岐モジュラージャックを接続する

本商品の VDSL LINE ポートと 2分岐モジュラージャックを、モジュラーケーブル VDSL LINE 用（灰色）で接続します。



2 壁のモジュラージャックと接続する

2分岐モジュラージャックに接続されているモジュラーケーブル 2分岐モジュラージャック用（白色）を、壁のモジュラージャックと接続します。

3 ひかり電話として利用する電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

4 パソコンを接続する

本商品の LAN ポートとパソコンを、LAN ケーブル（緑色）で接続します。

パソコン、本商品とも電源を切った状態で取り付けてください。

※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合は、パソコンの接続は必要ありません。

5 インラインフィルタを接続する

2分岐モジュラージャックとインラインフィルタの LINE ポートを、モジュラーケーブル（白色）で接続します。

6 アナログ電話機を接続する

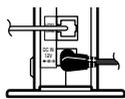
<ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に利用>

インラインフィルタの TEL ポートを ISDN 用 DSU 内蔵 TA と接続し、ISDN 用 DSU 内蔵 TA とアナログ電話機を接続します。

<アナログ電話機と同時に利用>

インラインフィルタの TEL ポートとアナログ電話機を接続します。

7 電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などのコンセントに接続しないでください。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

8 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

9 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））



ハンドセットから「ピーピーピーピー」という音が聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「Web 設定」や「まるごと設定ツール」、電話機から本商品のバージョンアップを行ってください。

電話機でバージョンアップを行う場合は電話機のダイヤルボタンを「**⊗** **⊗** **①** **①**」と押します。

バージョンアップ中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。

（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」「バージョンアップ方法（[手動更新]の場合）」（☛6-8 ページ）を参照してください。）

2

本
商
品
を
設
置
す
る



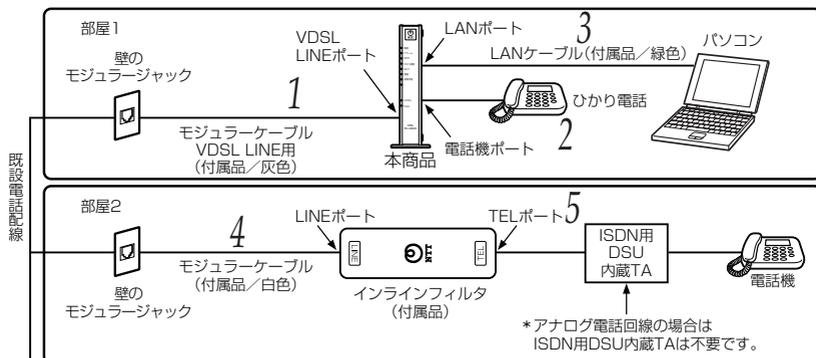
お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「**㊤**」または「**㊦**」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などを直接接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプ、VDSLランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章 故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。
- 「まるごと設定ツール」を使用する場合は、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。

＜同一回線上の異なるモジュージャックに接続して VDSL 回線と電話回線 (アナログまたは ISDN) を同時に使用する＞

1 壁のモジュージャックと接続する

本商品の VDSL LINE ポートとひかり電話で使用するモジュージャックを、モジュラーケーブル VDSL LINE 用 (灰色) で接続します。



2 ひかり電話として利用する電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

3 パソコンを接続する

本商品の LAN ポートとパソコンを、LAN ケーブル (緑色) で接続します。

パソコン、本商品とも電源を切った状態で取り付けてください。

※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合は、パソコンの接続は必要ありません。

4 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA で使用するモジュージャックと、インラインフィルタを接続する

アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA で使用するモジュージャックと、インラインフィルタの LINE ポートをモジュラーケーブル (白色) で接続します。

5 アナログ電話機を接続する

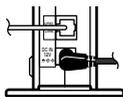
＜ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に利用＞

インラインフィルタの TEL ポートを ISDN 用 DSU 内蔵 TA と接続し、ISDN 用 DSU 内蔵 TA とアナログ電話機を接続します。

＜アナログ電話機と同時に利用＞

インラインフィルタの TEL ポートとアナログ電話機を接続します。

6 電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などのコンセントに接続しないでください。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

7 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

8 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））



ハンドセットから「ピーピーピーピー」という音が聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「Web 設定」や「まるごと設定ツール」、電話機から本商品のバージョンアップを行ってください。

電話機でバージョンアップを行う場合は電話機のダイヤルボタンを「**⊗** **⊗** **①** **①**」と押します。

バージョンアップ中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。

（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」「バージョンアップ方法（[手動更新]の場合）」（☛6-8 ページ）を参照してください。）

2

本
商
品
を
設
置
す
る



お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「**㊤**」または「**㊦**」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機などを直接接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACT ランプ、登録ランプ、VDSL ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章 故障かな?と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。
- 「まるごと設定ツール」を使用する場合は、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。

2-2 設定方法を確認してください

本商品は、「RV-230NE 専用 CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して設定する方法と、Web ブラウザ（Internet Explorer など）で設定する方法の 2 つの方法があります。本商品のご利用方法に合わせて、設定を行ってください。

「まるごと設定ツール」を使用して
設定する場合

Web ブラウザ (Internet Explorer など)
で設定する場合

パソコンの OS が Windows® XP/
2000 の場合

パソコンの OS が Windows® XP/
2000/Me/98 または Mac OS X/
9.x/8.x の場合

「RV-230NE 専用 CD-ROM」をパソコンにセットし、「まるごと設定ツール」を起動します。
詳しくは、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。

この取扱説明書を読み進んで設定を完了させてください。

ひかり電話を利用する

「3章 ひかり電話の使いかた」
(●3-1 ページ)

インターネットに接続する

「4章 インターネット接続の
設定をする」(●4-1 ページ)

無線 LAN の設定をする

「5章 無線 LAN のご利用について」
(●5-1 ページ)

3

ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

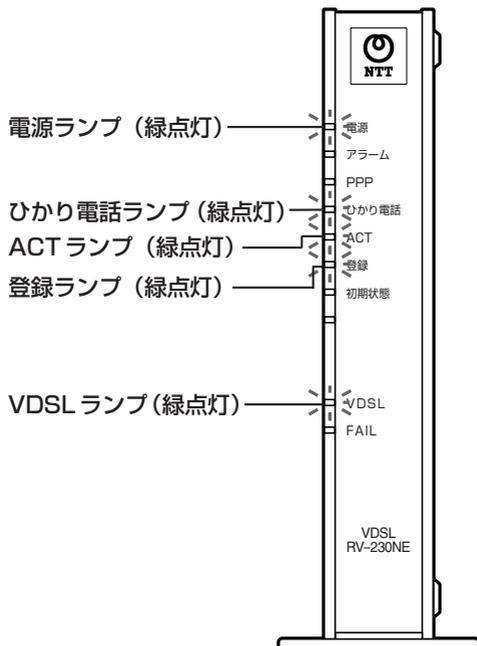
3

- 3-1 ひかり電話の使いかた3-2
- 3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する3-6
- 3-3 パソコンでひかり電話の設定をする3-10
- 3-4 電話機でひかり電話の設定をする3-22
- 3-5 複数の電話機での同時着信や
使い分けを設定する3-24

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようにになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

ひかり電話のかけかた

- ①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。
- ②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ③相手の電話番号をダイヤルします。
通常通り電話番号をダイヤルすると発信します。
- ④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順3で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、**(*)**、指定着信番号 (最大19桁) を押します。

〈例〉 0312345678 **(*)** 1234

↑
電話番号

↑
指定着信番号

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」(●3-21ページ)を参照してください。

**お知らせ**

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。（「7章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル(ハンドセットを置いたままダイヤルする機能)を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓜ**」(シャープ)を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や番号に続けて「**Ⓜ**」(シャープ)を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新版のファームウェアが公開されています。「**Ⓜ** **Ⓜ** **Ⓜ** **①** **①**」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。(詳しくは「6章 本商品のバージョンアップ」(●6-1 ページ)を参照してください。)バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。

電話の受けかた

- ①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。
- ②通話が終わったらハンドセットを置きます。

**お知らせ**

- 「Web設定」や電話機から設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話に対応したIP端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」での「登録」ボタンなど本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・ NTT 東日本／西日本の加入電話およびISDN
- ・ IP 電話サービス (050IP 電話サービス)
- ・ 国際電話 (世界約 200 の国と地域)
- ・ 他社の提供する OAB～J 電話サービス
- ・ 携帯電話、PHS

ひかり電話で接続できる番号

ひかり電話で接続できる番号は以下の通りです (2006 年 11 月現在)。

電話番号	サービス名など	接続可否	電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス/フリーダイヤルなど	○	122	固定優先解除	×
0170	伝言ダイヤル	×	125	でんわ会議	×
0180	テレゴン/テレドーム/データドーム	×	134	ダイヤルQ2パスワード	×
0190	エンジェルライン/あんないジョーズ	×	135	特定番号通知機能	×
0570	ナビアクセス/APナビ/ナビダイヤル	×	136	ナンバーアナウンス	×
0800	フリーアクセス/フリーダイヤルなど	○	141	でんわばん、二重番号サービス	×
0910	公専接続	×	142	ボイスワープ	○
0990	ダイヤルQ2	×	144	迷惑電話おことわりサービス	○
010	国際通話	○	145	キャッチホン2	×
020	ポケベル	×	146	キャッチホン2	×
050	IP電話	○	147	ボイスワープセレクト、なりわけサービス	○
060	UPT (eコール)	×	148	ナンバーリクエスト	○
070	PHS	○	149	DDX-TP	×
080	携帯電話	○	151	メンバーズネット	×
090	携帯電話	○	152	メンバーズネット	×
100	100番通話	×	159	あいたらお知らせ	×
102	非常・緊急扱い電話	×	161	ファクシミリ通信網	×
104	番号案内	○	162	ファクシミリ通信網	×
106	コレクトコール (コミュニケーション扱い)	×	163	DDX-TP	×
108	自動コレクトコール	×	164	DDX-TP	×
110	警察 (緊急通報)	○	165	メール送受信	×
112	共同加入者受付	×	166	ビデオテックス接続	×
113	故障受付	○	167	DDX-TP	×
114	お話し中調べ	×	169	DDX-TP	×
115	電報受付	○	171	171災害時伝言ダイヤル	○
116	営業受付	○	177	天気予報	○
117	時報	○	178	オフトーク	×
118	海上保安 (緊急通報)	○	184	発信者番号通知拒否	○
119	消防 (緊急通報)	○	186	発信者番号通知	○
121	クレジット通話サービス	×	189	ダイヤルQ2	×

ひかり電話で以下の操作はできません

- ・ ひかり電話から# (シャープ) ABCDの発信
 - ・ ひかり電話から00XY発信 (電気通信事業者を指定した発信)
 - ・ ひかり電話からNTT DoCoMoの衛星船舶の発信
- これらの発信不可の番号は下記のとおりです。

090 302 20XXX~41XXX, 43XXX~47XXX, 57XXX~63XXX, 66XXX~67XXX

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などを呼び出して、通話することができます。

- ①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ●3-13 ページ、IP 端末 ●3-16 ページ）
- ③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などに取りつぎます。

- ①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ●3-13 ページ、IP 端末 ●3-16 ページ）
- ③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
- ④ハンドセットを置いて転送を実行します。

お知らせ

- 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓜ**」（シャープ）を押してください。
- 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
- フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 お話し中に「ブプッ…」という割込み音が聞こえる

2 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話する

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセットを置く

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。

※フッキングでも切り替えができます。

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	通常のキャッチホンの動作をします。(注1)	呼び出し音が鳴ります。
複数チャネルサービス「ダブルチャネル」(●3-9ページ)のご契約がある場合	割込み音通知を「使用する」に設定(パソコンから設定●3-14ページ、電話機から設定●3-22ページ)した場合、通常のキャッチホンと同じようにかかってきた電話に出ることができます。(注2)	呼び出し音が鳴ります。(注3)
キャッチホン、複数チャネルサービス「ダブルチャネル」のご契約がない場合	通話中の通話を継続します。(注4)	お話し中音が鳴ります。(注4)

(注1) キャッチホン契約の場合、「割込み音通知」設定に関わらずキャッチホンの「ブプッ…」という割込み音が聞こえます。

(注2) 本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

(注3) 別の電話機で着信しない場合、お話し中の電話機が割込み音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が鳴ります。

(注4) 内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込み音通知を「使用する」に設定されていると、「ブプッ…」という割込み音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が鳴ります。



お知らせ

- 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」にご契約でない場合は、「キャッチホン」のご契約が必要です。
- 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」にご契約の場合は、「キャッチホン」のご契約はできません。
- キャッチホンサービスや複数チャネルサービス「ダブルチャネル」で、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります(呼び返し)。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
- フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン(またはフックボタン、フラッシュボタンなど)を押します。

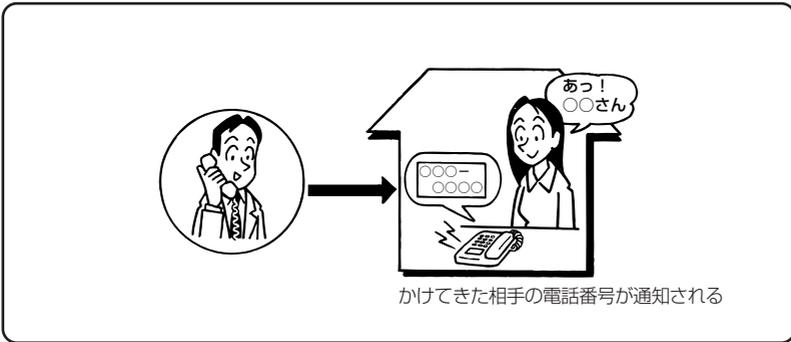


ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



●必要な設定

- ①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。
(パソコンから設定 ●3-14ページ、電話機から設定 ●3-22ページ)
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
- ②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
- ③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。



お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

- 発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。
- ひかり電話ご契約時の内容
ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただけます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号 (通常の操作)	184+ 相手先電話番号	186+ 相手先電話番号
通常通知 (通話ごと非通知)	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

お知らせ

- 指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

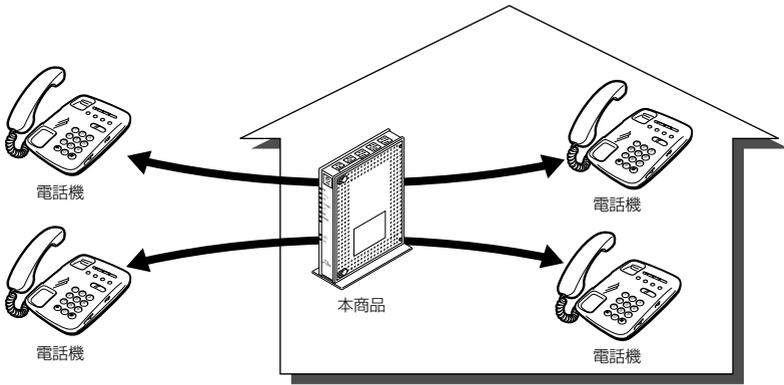
複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」を利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前に複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」のご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

「**■**通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」(▶3-6 ページ)をご覧ください。

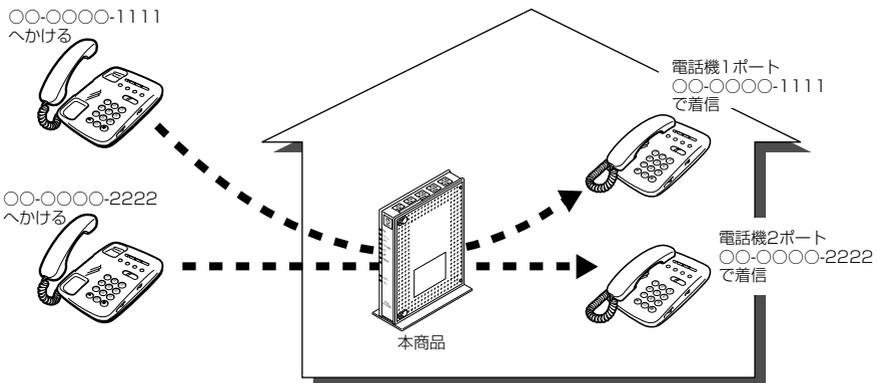


3
ひかり電話の使いかた

追加番号サービス「マイナンバー」を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前に追加番号サービス「マイナンバー」のご契約が必要となります。



3-3 パソコンでひかり電話の設定をする

ひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品のLANポートに接続されたパソコンのWebブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」、または「内線番号設定」から行います。

ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※はじめて本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開いた場合は、本商品の初期設定を行ってください。(☛4-8ページ)

■「ひかり電話共通設定」画面で設定する

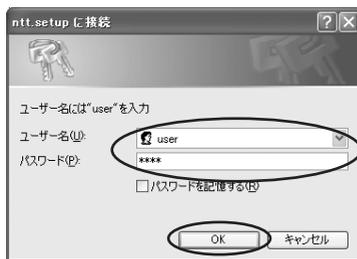
1 Webブラウザを起動し、「<http://ntt.setup/>」と入力し、「Web設定」ページを開く

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。

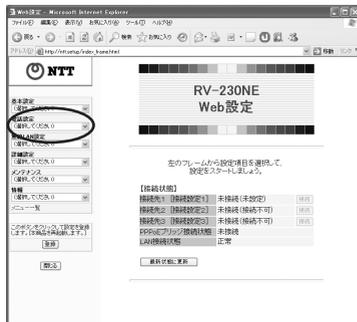
(工場出荷時は192.168.1.1です)

例：<http://192.168.1.1/>

2 ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-3 本商品の設定をする」(☛4-8ページ)手順2で入力した機器設定用パスワードを入力し [OK] をクリックする

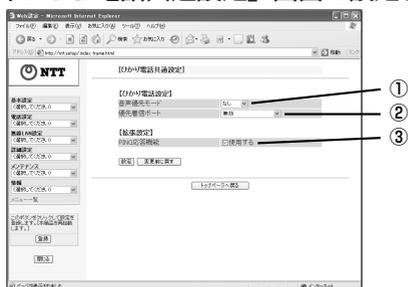


3 メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する



4

「ひかり電話共通設定」画面で設定する



【ひかり電話設定】

①音声優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

- ・「なし」 音声優先制御を行いません。
- ・「優先」 音声パケットを優先処理します。
- ・「最優先」 音声パケットを最優先で処理します。

(初期値：なし)

②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

- ・「アナログ端末（電話機 1）」 電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「アナログ端末（電話機 2）」 電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「無効」 優先着信を行いません。

(初期値：無効)

※優先着信ポートを設定する場合は「内線番号設定」画面で次の設定が必要です。

- ・ [内線番号一覧] でアナログ端末（電話機 1）、アナログ端末（電話機 2）ともに「内線番号」にチェックしてください。（☛3-12 ページ）
- ・ [内線番号一覧] ですべての IP 端末の「内線番号」のチェックを外してください。（☛3-12 ページ）
- ・ 電話機 1、2 ポートで同じ着信番号を 1 つ以上選択し、電話機 1、2 ポートの「割り込み音通知」を「使用しない」に設定してください。（☛3-14 ページ）

【拡張設定】

③PING 応答機能

WAN 側からの PING に応答するかしないかを選択します。

(初期値：使用する)

5

「設定」をクリックする

3

ひかり電話の使いかた

■ 「内線番号設定」画面で設定する

1 「Web 設定」ページ (http://ntt.setup/) を開き、メニューの「電話設定」 - 「内線番号設定」を選択する

2 「内線設定編集」で編集する内線番号を選択する



編集する内線番号を選択します。同時に使用できる内線番号は最大5つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末 / IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。プルダウンメニューの番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1 ~ 2	アナログ端末
3 ~ 7	IP 端末

3 **【編集】をクリックする**

<手順2で「アナログ端末」の内線番号を選択した場合>

[内線設定 (アナログ端末)] の編集画面で、編集・設定します。(☛3-13 ページ)

<手順2で「IP 端末」の内線番号を選択した場合>

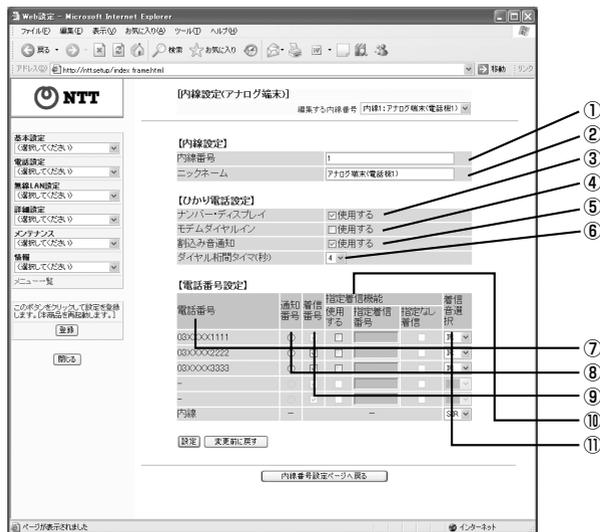
[内線設定 (IP 端末)] の編集画面で、編集・設定します。(☛3-16 ページ)

4

【内線設定】画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、画面右上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。



【内線設定】

①内線番号

内線番号を入力します。

「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。

※重複した内線番号は設定できません。

(初期値：下記の表を参照)

②ニックネーム

ニックネームを入力します。

任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、全角32文字、半角64文字まで入力できます。

(初期値：下記の表を参照)

<初期値>

内線番号	ニックネーム
1	アナログ端末（電話機1）
2	アナログ端末（電話機2）

3

ひかり電話の使いかた

(次ページに続く)

【ひかり電話設定】

- ③ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。
(ナンバー・ディスプレイについては ●3-7 ページ)
(初期値：使用する)
※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。
- ④モデムダイヤルライン モデムダイヤルラインを使用する場合にチェックします。
(初期値：使用しない)
- ⑤割込み音通知 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」でのお話中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込み音を使用する場合にチェックします。(複数チャネルサービス「ダブルチャネル」については ●3-9 ページ)
(初期値：使用する)
- ⑥ダイヤル桁間タイマ (秒) 電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。
設定できる値は「4～8」(秒)です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。
(初期値：4 秒)

【電話番号設定】

- ⑦電話番号 ご契約された電話番号 (外線) が表示されます。
- ⑧通知番号 発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。
※「通知番号」に設定した電話番号に「指定着信機能」を設定しても相手先に「指定着信番号」は通知されません。
(初期値：契約者回線番号)
- ⑨着信番号 各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。
(初期値：すべての電話番号)

⑩指定着信機能

指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に使用する指定着信番号を入力します（1～19桁の数字を入力してください）。指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は「指定なし着信」にチェックします。

※指定着信機能は電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん「使用する」のチェックを外してください。

（初期値：使用しない）

⑪着信音選択

電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。

・「IR」

着信音が「1 秒あり＋2 秒なし」を繰り返します。
（「ブルルルー、ブルルルー・・・」と鳴動します。）

・「SIR」

着信音が「0.3 秒あり＋0.3 秒なし＋0.3 秒あり＋2.1 秒なし」を繰り返します。

（「ブルルッ、ブルルッ・・・」と鳴動します。）

（初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）



お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- 着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

（次ページに続く）

【内線設定 (IP 端末)】

※複数の内線番号を編集する場合は、画面右上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。

①内線番号

内線番号を入力します。
「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
(初期値：次ページの表を参照)

②ニックネーム

ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、全角32文字、半角64文字まで入力できます。
(初期値：次ページの表を参照)

③端末属性

端末属性を「音声端末」、「映像端末」から選択します。
いったん、「音声端末」または「映像端末」を選択して設定すると「-」を選択することはできません。
内線設定を削除すると、端末属性は「-」に戻ります。
※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。
(初期値：「-」)

④ユーザーID

任意のユーザーIDを入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大32文字です。
※ここで設定したユーザーIDと同じユーザーIDを、接続するIP端末にも設定します。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP端末によっては、空欄に設定する場合があります。
(初期値：次ページの表を参照)

⑤パスワード

任意のパスワードを入力します。

使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大32文字です。

※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続するIP端末にも設定します。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザーIDが空欄の場合は、パスワードは不要です。

(初期値：自動生成(半角8桁))

<初期値>

内線番号	ニックネーム	ユーザーID
3	IP 端末 1	0003
4	IP 端末 2	0004
5	IP 端末 3	0005
6	IP 端末 4	0006
7	IP 端末 5	0007

【電話番号設定】

⑥電話番号

ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

⑦通知番号

発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。

※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。

(初期値：契約者回線番号)

⑧着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。

(初期値：すべての電話番号)

5 **【設定】をクリックする**6 **【内線番号設定ページへ戻る】をクリックする**7 **【内線番号一覧】で【最新状態に更新】をクリックする**8 **設定した内線番号にチェックして【適用】をクリックする**

※最大5つの番号までチェックできます。

内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次の通り設定されています。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

●設定方法

- ① 「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
- ③ 「内線設定」画面で設定する
(アナログ端末 ●3-13 ページ、IP 端末 ●3-16 ページ)



お知らせ

- 本商品に接続可能な端末は最大5台までですので、同時に使用できる内線番号は最大5つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

- ① 「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
- ③ 「内線設定」画面の「電話番号設定」で確認する
(アナログ端末 ●3-14 ページ、IP 端末 ●3-17 ページ)

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

- ① 「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
- ③ 「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信番号」で設定する
(アナログ端末 ●3-14 ページ、IP 端末 ●3-17 ページ)

一斉着信

1つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページのメニューの「電話設定」 — 「内線番号設定」 を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」 をクリックする
- ③ 「内線設定」 画面の「電話番号設定」 — 「着信番号」 で着信する電話番号にチェックする
(アナログ端末 ●3-14 ページ、IP 端末 ●3-17 ページ)
- ④ 着信させたいすべての内線番号について②、③を繰り返して同様に設定する

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページのメニューの「電話設定」 — 「内線番号設定」 を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」 をクリックする
- ③ 「内線設定」 画面の「電話番号設定」 — 「着信音選択」 で着信音を選択する
(アナログ端末 ●3-15 ページ)



お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- アナログ端末のみで設定できる機能です。

ダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページのメニューの「電話設定」 — 「内線番号設定」 を選択する
- ② 編集する内線番号を選択し、「編集」 をクリックする
- ③ 「内線設定」 画面の「ひかり電話設定」 — 「モデムダイヤルイン」 で設定する
(アナログ端末 ●3-14 ページ)



お知らせ

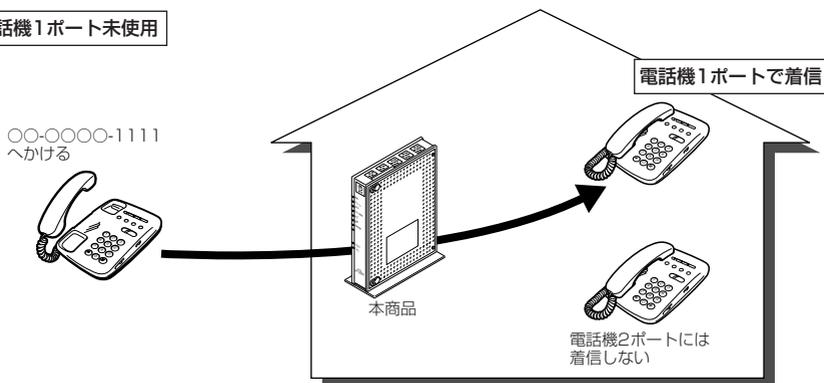
- モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。
- アナログ端末のみで設定できる機能です。
- モデムダイヤルインの設定は電話機からも行えます。(●3-22 ページ)

優先着信ポート

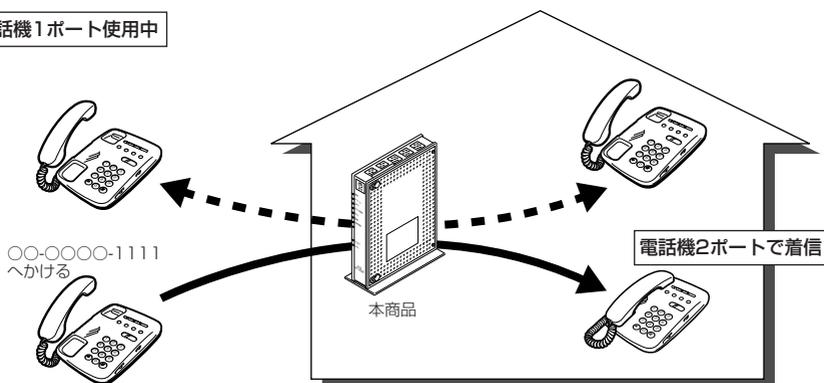
本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。

【電話機1ポートを優先着信ポートに設定した場合】

電話機1ポート未使用



電話機1ポート使用中



※複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」をご利用の場合、電話機1ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機2ポートにのみ着信します。

※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機1ポートが通話中であっても電話機2ポートには着信しません。通話中の電話機1ポートにキャッチホンの「ブツッ・・・」という割込み音が聞こえます。

●設定方法

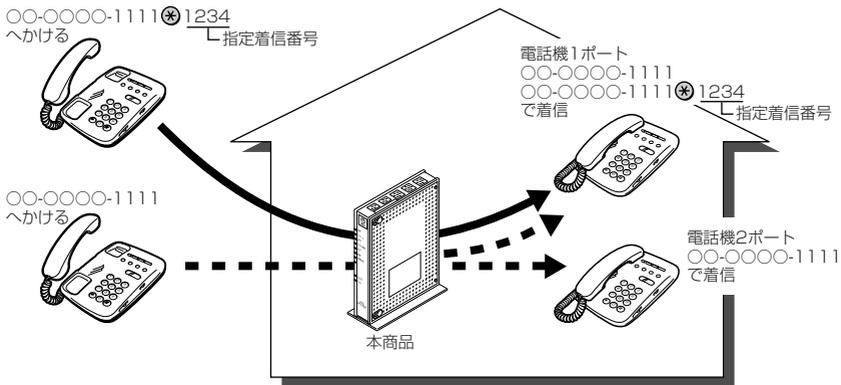
- ① 「Web 設定」ページのメニューの「電話機設定」 - 「ひかり電話共通設定」を選択する
- ② 「優先着信ポート」で優先する電話機ポートを選択する (☛3-11 ページ)

**お知らせ**

- 優先着信ポートを有効に設定する場合は、電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を 1 つ以上設定している必要があります。電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を設定しない場合、優先着信ポートの設定は無効になります。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知はご利用になれません。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を設定すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログ端末を直接呼び出すことができます。

**●設定方法**

- ①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する
- ②編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
- ③「内線設定」画面の「電話番号設定」で指定着信機能を使用する電話番号の「指定着信機能」－「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に使用する指定着信番号を入力する（☛3-15 ページ）
- ④指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、「指定なし着信」にチェックする

**お知らせ**

- アナログ端末のみで設定できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-6 ページ）はご利用いただけません。

3-4 電話機でひかり電話の設定をする

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。

1 ハンドセットを取りあげる



2 電話機のダイヤルボタンを「* * * ⑨ ⑨ ポート番号 * 機能番号 * 設定値 # #」と押す

ポート番号	
①	電話機 1
②	電話機 2

機能番号		設定値	
⑨ ①	ナンバー・ディスプレイ設定	①	使用する
		②	使用しない
⑨ ②	モデムダイヤルイン設定	①	使用する
		②	使用しない
⑨ ③	割込み音通知設定	①	使用する
		②	使用しない

複数の設定を一度に行う場合は「設定値 #」のあとに続けて「ポート番号 * 機能番号 * 設定値 #」と押します。

すべての設定が終わったら、最後に「#」を押してください。設定が終了すると、「プブ、プブ」と鳴ります。

3 ハンドセットを置く



〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげる



2 電話機のダイヤルボタンを

「* * * 9 9 ① * 9 ① * ② # #」と押す



設定が終了すると、「プブ、プブ」と鳴ります。

3 ハンドセットを置く



3

ひかり電話の使いかた



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください（「PB」にできない電話機からは、設定できません）。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピピピッ・・・」とエラー音が鳴ります。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ファームウェアの自動バージョンアップ実行中のとき、ファームウェアの自動バージョンアップ予約中、当社のひかり電話設備の工事中のときは、「ピピピピッ・・・」とエラー音が鳴り、電話機からの設定は行えません。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知は設定できません。割込み音通知の設定を行うと「ピピピピッ・・・」とエラー音が鳴ります。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込み音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。

複数の電話機での同時着信や 使い分けを設定する

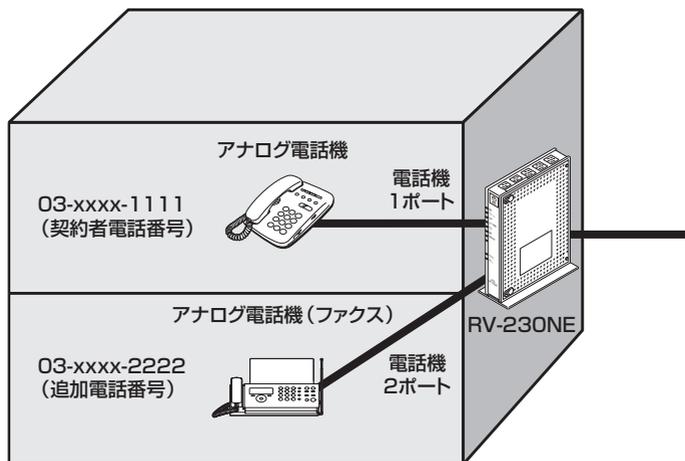
ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。

通知番号、着信番号、着信音の設定は、「Web 設定」の[電話設定]で行います。設定方法については、「3-3 パソコンでひかり電話の設定をする」(●3-10 ページ)を参照してください。

ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号サービス「マイナンバー」(2 番号)
- 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」
 - ※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

電話機 1

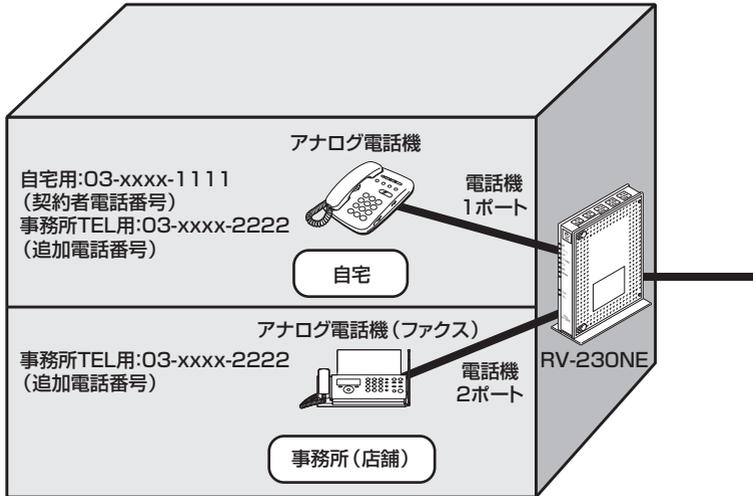
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
03-xxxx-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

電話機 2

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号サービス「マイナンバー」(2 番号)
- 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」
※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

電話機 1

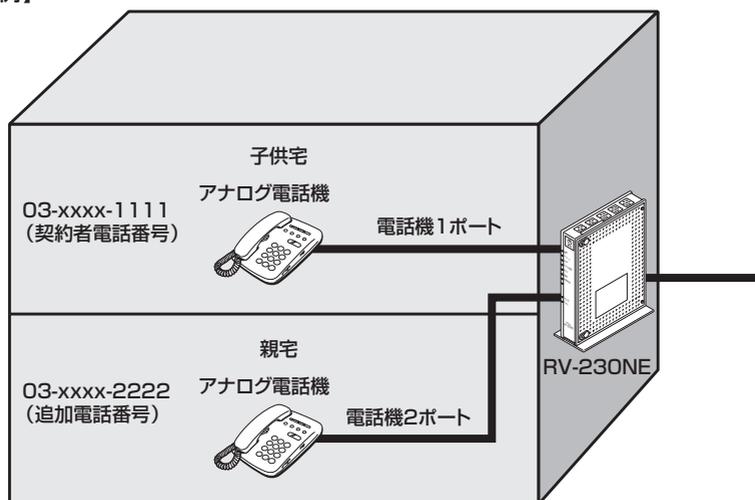
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
03-xxxx-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR

電話機 2

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

2世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号サービス「マイナンバー」(2番号)
- 複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」
※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

電話機 1

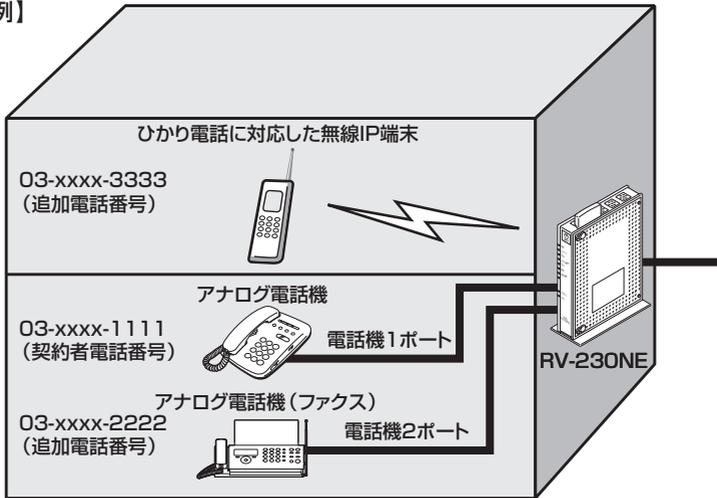
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
03-xxxx-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR

電話機 2

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR
03-xxxx-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

ひかり電話に対応した無線 IP 端末を利用したいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号サービス「マイナンバー」(3 番号)
 - 複数チャネルサービス「ダブルチャネル」
- ※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

電話機 1

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
03-xxxx-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-3333	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

電話機 2

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
03-xxxx-3333	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

IP 端末 1

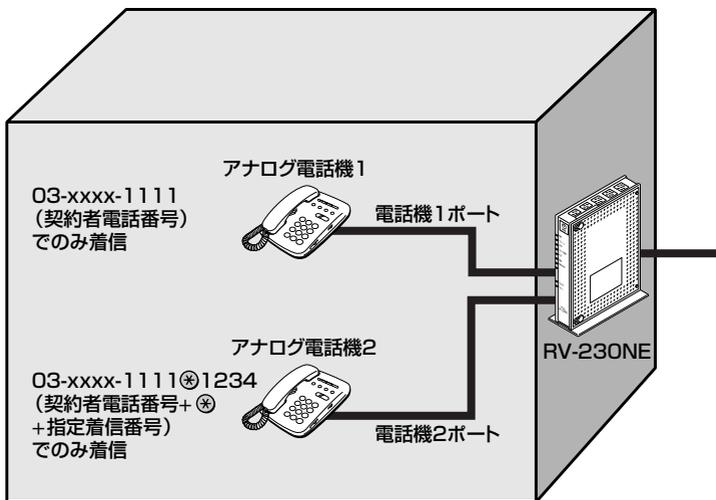
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
03-xxxx-3333	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	—

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。

追加番号サービス「マイナンバー」を利用せず指定着信機能を利用して特定のアナログ端末で着信したいときには

【利用例】

〔「03-xxxx-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機1のみ着信させる。
 〔「03-xxxx-1111」☉1234〕でかかってきた場合は、アナログ電話機2のみ着信させる。〕



【設定例】

電話機 1

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	☉ 通知する	☑ 着信する	<input type="checkbox"/> 使用しない	—	—	IR

電話機 2

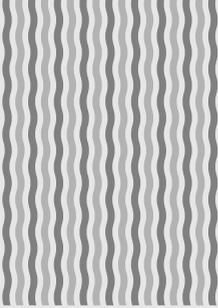
電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	☉ 通知する	☑ 着信する	☑ 使用する	1234	<input type="checkbox"/> 着信しない	IR

※ 「Web 設定」ページの「電話設定」－「内線設定（アナログ端末）」画面の「電話番号設定」で「指定着信機能」－「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に「1234」（指定着信番号）を入力します。



お知らせ

- 追加番号サービス「マイナンバー」をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は1つだけです。
- アナログ端末のみで使用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。



4

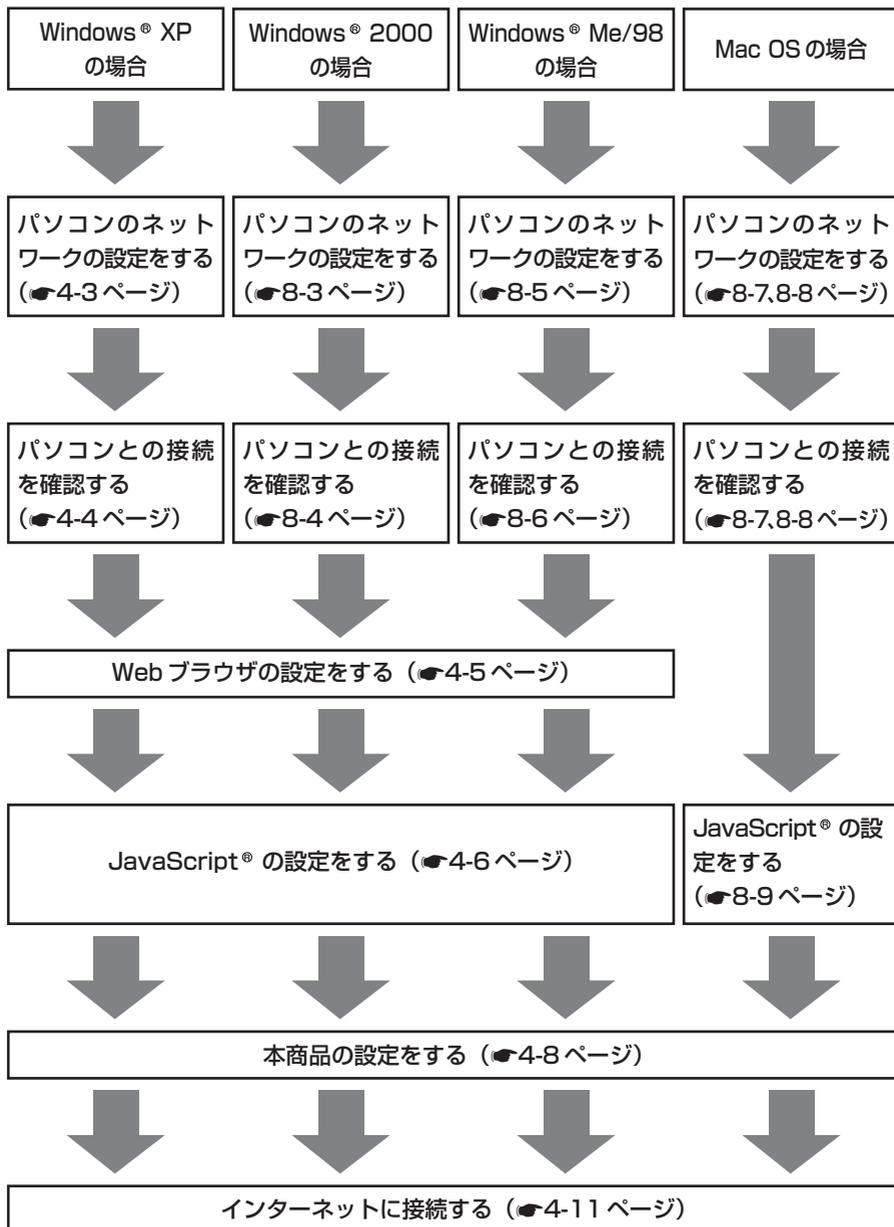
インターネット 接続の設定をする

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

- 4-1 設定の流れ4-2
- 4-2 パソコンのネットワーク設定
(Windows® XP)4-3
- 4-3 本商品の設定をする4-8
- 4-4 インターネットに接続する4-11
- 4-5 フレッツ・スクウェアに接続する4-12

4-1 設定の流れ

本商品のインターネット接続は次の手順で行います。
パソコンのOS によってそれぞれのページを参照して行ってください。



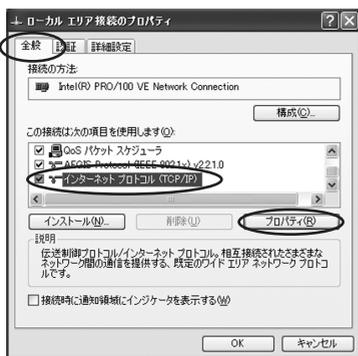
パソコンのネットワーク設定 (Windows® XP)

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。
「4-3 本商品の設定をする」(●4-8 ページ)へお進みください。

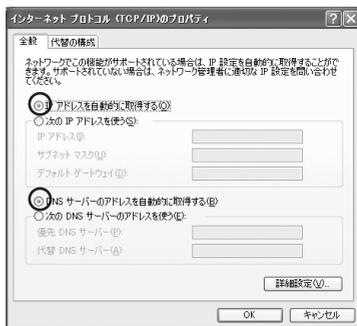
パソコンのネットワークの設定をする (Windows® XP)

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする

お知らせ

●本書では、Windows® XP の通常表示モード(カテゴリー表示モード)を前提に記載しています。

パソコンとの接続を確認する (Windows® XP)

1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行する

3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、`[ipconfig /renew]` と入力し、`[Enter]` キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカル エリア接続:] が表示され、IP アドレス (IP Address) が「192.168.1.xxx」になっていることを確認する (xは1を除く任意の数字です)



```
コマンドプロンプト
C:\>ipconfig /renew
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific BNS suffix . . . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```

5 「exit」と入力し、`[Enter]` キーを押す

Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下は、Windows® XP で Internet Explorer Ver.6.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

Windows® 2000/Me/98
の場合

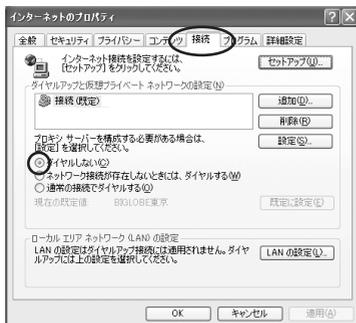
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® 2000/Me/98
の場合

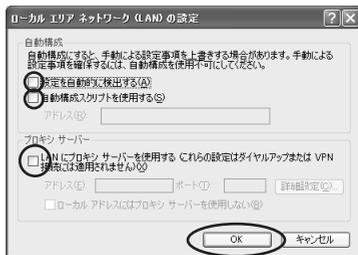
[インターネットオプション]
アイコンをダブルクリック
します。

3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



4 [LAN の設定] をクリックする

5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スプリクトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外し、[OK] をクリックする



6 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript® の設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® XP で Internet Explorer Ver.6.0 を使用している場合の例です。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

Windows® 2000/Me/98
の場合

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® 2000/Me/98
の場合

[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックします。

- 3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

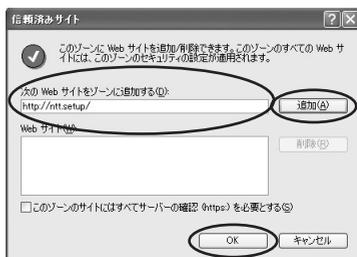
- 4 [サイト] をクリックする

- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す



- 6 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://ntt.setup/」を入力して [追加] をクリックし、[OK] をクリックする

※IP アドレス (工場出荷時は 192.168.1.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。
(例: 「192.168.1.1」)



7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

8 画面をスクロールし、[アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



9 [OK] をクリックする

4

インターネット接続の設定をする

4-3 本商品の設定をする

本商品のインターネット接続の設定は、付属の「RV-230NE 専用 CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して設定できます。

「まるごと設定ツール」での設定のしかたは、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。

Web ブラウザ（Internet Explorer など）を使って設定する場合は、次の手順で「Web 設定」を起動して設定することができます。

■「Web 設定」で設定する

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「4-1 設定の流れ」（●4-2 ページ）をご覧ください。パソコンの設定を確認してください。

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」と入力し、「Web 設定」ページを開く

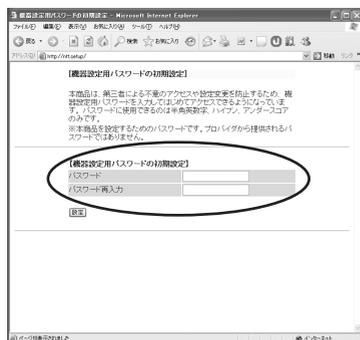
本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。

（工場出荷時は 192.168.1.1 です）

例：http://192.168.1.1/

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

画面に従って任意の文字列（半角英数字で最大 64 文字まで）を入力してください。



機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード

機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（●8-11 ページ）

3 【設定】をクリックする

4 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し【OK】をクリックする



5

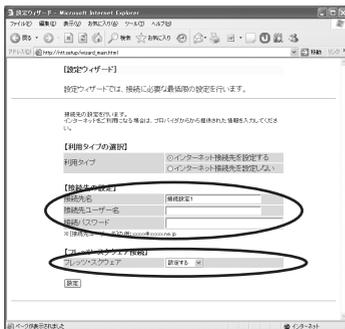
利用タイプで「インターネット接続先を設定する」を選択する



※インターネットの接続先を設定しない場合は、「インターネット接続先を設定しない」を選択し、手順7へ進みます。

6

プロバイダ情報に従って接続先ユーザー名、接続パスワードを入力し、フレッツ・スクウェア接続の設定を選択する



接続先ユーザー名：

プロバイダの資料に従って、接続先ユーザー名を入力します。「接続先ユーザー名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。

例：xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード：

プロバイダの資料に従って、接続パスワードを入力します。

「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

※接続先ユーザー名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。

フレッツ・スクウェア接続：

フレッツ・スクウェア接続をご利用になる場合は「設定する」を、ご利用にならない場合は「設定しない」を選択します。

(「4-5 フレッツ・スクウェアに接続する」▶4-12ページ)

[設定] をクリックする

[OK] をクリックする

「Web 設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。

Web ブラウザを閉じて「Web 設定」を終了してください。

※最新のファームウェアが公開されている場合は、「Web 設定」のトップページが表示される前に、ファームウェア更新画面が表示されますので、画面の指示に従ってファームウェアの更新を行ってください。

4

インターネット接続の設定をする



お知らせ

- 本項の手順で設定された接続先ユーザー名、接続パスワードは「接続先 1」に設定されます。「接続先 1」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
- プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド (HTML ファイル)」をご覧ください。
- 「フレッツ・スクウェア接続」で「設定する」を選択した場合は、「接続先 3」に設定されます。
設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド (HTML ファイル)」をご覧ください。
- 本項の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く際は、手順 1 に続いて手順 4 の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順 2 で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web 設定」のトップページが表示されます。
- 「まるごと設定ツール」でインターネット接続の設定を行うと、パソコンのデスクトップに Web ブラウザから本商品の設定を行うための「Web 設定」のショートカットが作成されます。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(●1-7 ページ)をご覧ください。
- 「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 「Web 設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- 「Web 設定」を行う際、「ファームウェアの更新確認ができません。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、再度、電源を入れ直してください。なお、ひかり電話の開通日以前に本商品の設定を行う場合は、電源を入れたあと、本商品前面の登録ランプが赤点灯または赤点滅するまで、数分～20分程度お待ちいただいたのち、設定を行ってください。
- 「Web 設定」を行う際、「工事のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事のため本商品の設定はできません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」での [登録] ボタンなど本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。(●6-8 ページ)

4-4 インターネットに接続する

Web ブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

- 1 Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動する
本商品の PPP ランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。
- 2 インターネット上のホームページを開く

4

インターネット接続の設定をする



お知らせ

- PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPPランプは緑点灯しません。
- 接続モードを要求時接続に設定している場合、無通信時にはPPPランプが消灯しています。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていればPPPランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoEマルチセッション機能を利用して1回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド (HTMLファイル)」をご覧ください。

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する

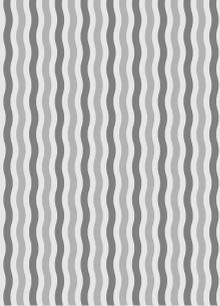
次の手順でフレッツ・スクウェアに接続してみましょう。

- 1 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動する
- 2 「フレッツ・スクウェア」の URL 「<http://www.flets/>」を入力し、ページを開く



お知らせ

- フレッツ・スクウェアの設定は、設定ウィザードで行います。（☛4-8 ページ）
設定ウィザードは、「Web 設定」をはじめて行う場合にのみ起動します。設定を変更する場合は、「Web 設定」で行ってください。設定方法は、機能詳細ガイドの「設定例」－「フレッツ・スクウェアで利用するには」を参照してください。



5

無線 LAN のご利用について

無線 LAN をご利用になる場合はこちらをご覧ください。

- 5-1 無線 LAN 設定の流れ5-2
- 5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け ...5-3
- 5-3 本商品へ無線 LAN の設定をする5-4
- 5-4 パソコンへ無線 LAN カードの設定をする ...5-5
- 5-5 「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」の設定をする5-11

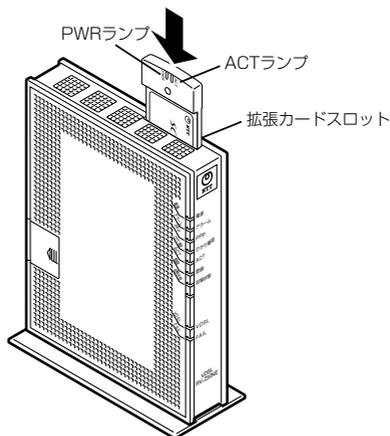
5-2 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32NE」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- 装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- 本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32NE」のみです。
- パソコンにSC-32NEを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないとSC-32NEが使用できない場合があります。SC-32NE取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANカードを増設する場合、無線LANカードを装着したパソコンは、10台以下でのご使用をお勧めします。

1 無線LANカード（SC-32NE）を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通り、本商品のランプ側を右にしてSC-32NEのACTランプ、PWRランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。



※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

2 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を接続する

SC-32NEのACTランプ、PWRランプが緑点滅することを確認してください。

無線LANカードを取り外すときのご注意

本商品から無線LANカード（SC-32NE）を取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

STOP

お願い

- 電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

5

無線LANのご利用について

5-3 本商品へ無線 LAN の設定をする

本商品の LAN ポートに接続されたパソコンの Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 設定】から、本商品に関する無線 LAN セキュリティの設定を行います。

ここでは、設定のため一時的に SC-32NE からの「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」を行わない設定にします。

また、「無線の暗号化」は、「WPA-PSK (TKIP)」に設定する場合を例に説明します。暗号化を設定することで、無線通信でやり取りするデータを暗号化します。データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

1 【無線ネットワーク名 (SSID)】 で本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を確認する

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) は無線 LAN カードから接続する際に必要になりますので控えておきましょう。

無線ネットワーク名 (SSID)

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) の初期値は、本商品側面のラベルに記載されている RV230NE-XXXXXX (XXXXXX は本商品の LAN 側の MAC アドレスの下 6 桁) です。

2 【無線 LAN アクセスポイント 設定】の【無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)】のチェックを外す

3 【暗号化】の【無線の暗号化】 を「WPA-PSK (TKIP)」に 設定する

4 【暗号化】の【事前共有キー (PSK)】 に 8 ~ 63 桁で半角英 数字の任意の文字列を入力する



画面は【事前共有キー (PSK)】として「NTTRV230NE」に設定した場合の例です。

【設定】をクリックする

【登録】をクリックする



STOP

お願い

- 無線 LAN セキュリティの設定を変更する場合は、無線 LAN カードを装着したパソコン、ひかり電話に対応した無線 IP 端末の設定も変更してください。変更しないと通信できない場合があります。

無線LANカードのセキュリティ設定は、下記の3項目を本商品の無線LANセキュリティと同様にする必要があります。

- ・無線ネットワーク名 (SSID)
- ・無線の暗号化
- ・事前共有キー (PSK)

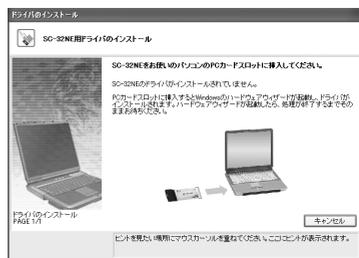
インストール

SC-32NEをパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、SC-32NEに付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(青)をパソコンにセットして行います。SC-32NEに付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(青)では、「ドライバ」およびSC-32NEを設定するための「SC-32NEユーティリティ」を同時にパソコンにインストールします。

ここでは、Windows® XPのパソコンにSC-32NEを接続してご使用になる場合を例に説明しています。

- 1 Windows® XPを起動する
この時点では、SC-32NEをパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。
- 2 付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(青)をCD-ROMドライブにセットする
- 3 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みのうえ、内容に同意される場合は「次へ」をクリックする
SC-32NEユーティリティのインストールが始まります。

- 4 SC-32NEユーティリティのインストールが完了すると、SC-32NE用のドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPCカードスロットにSC-32NEを挿入する



ドライバのインストールが完了します。

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する



Windows® 2000 の場合

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

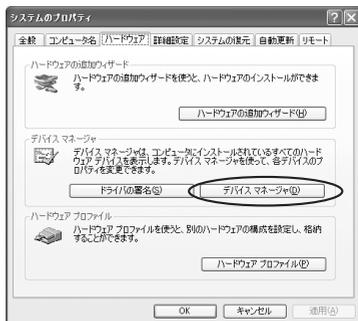
2 [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックし、[システム] をクリックする

Windows® 2000 の場合

[システム] アイコンをダブルクリックします。

3 [ハードウェア] タブをクリックする

4 [デバイスマネージャ] をクリックする



5 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする



「SC-32NE」が表示されます。

5
無線LANのご利用に
ついて

(次ページに続く)

6

「SC-32NE」をダブルクリックする



7

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する



表示されない場合は、[トラブルシューティング] をクリックして、画面の指示に従って対処してください。
 以上でインストールの確認は終了です。

8

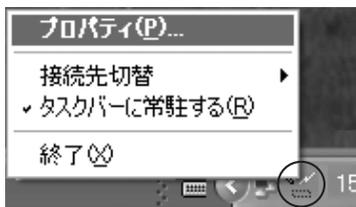
【OK】 をクリックする

無線LAN アクセスポイントへの無線接続

SC-32NEから無線LAN アクセスポイントを検索して、接続します。

1 タスクトレイにある を右クリックする

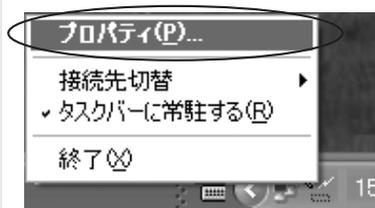
メニューが表示されます。



お知らせ

- タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows® 2000では[プログラム]) - [SC-32NE] - [SC-32NE ユーティリティ] の順にクリックしてください。
- Windows® XP/2000でSC-32NE ユーティリティの機能を使用して無線LANの設定や状態表示を行う場合は、管理者権限を持つユーザー (Administratorなど) でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンした場合は、無線の通信は可能ですが、無線LANの設定や、状態表示を行うことはできません。

2 「プロパティ」 をクリックする



3 「ネットワーク一覧」 タブをクリックする



4 接続したい無線ネットワーク名 (SSID) をクリックして、[設定] をクリックする



「5-3 本商品へ無線LANの設定をする」(●5-4ページ)手順1で確認した無線ネットワーク名 (SSID) を選択します。

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) の初期値は、本商品側面のラベルに記載されている RV230NE-XXXXXX (XXXXXX は本商品のLAN側のMACアドレスの下6桁) です。

5

無線LANのご利用について

(次ページに続く)

5 [通信モード] を「インフラストラクチャ通信」にする

6 [無線の暗号化] を「WPA-PSK (TKIP)」にする

ワイヤレスネットワークの設定

無線ネットワーク名(SSID) RV230NE-XXXXXX

無線動作モード() IEEE802.11a/IEEE802.11b互換 () 使用チャネル() 自動選択 () (参照) ()

通信モード() インフラストラクチャ通信 () [詳細設定 >>]

暗号化

無線の暗号化() WPA-PSK(TKIP)

暗号化キー()

登録 キャンセル

7 [暗号化キー] に、事前共有キー (PSK) を入力する

「5-3 本商品へ無線 LAN の設定をする」(●5-4 ページ) 手順 4 で、RV-230NE に設定した事前共有キー (PSK) を設定します。

8 [登録] をクリックする

ワイヤレスネットワークの設定

無線ネットワーク名(SSID) RV230NE-XXXXXX

無線動作モード() IEEE802.11a/IEEE802.11b互換 () 使用チャネル() 自動選択 () (参照) ()

通信モード() インフラストラクチャ通信 () [詳細設定 >>]

暗号化

無線の暗号化() WPA-PSK(TKIP)

暗号化キー() NTRRV230NE

登録 キャンセル

以上で SC-32NE への接続は完了です。



お知らせ

- SC-32NE は IEEE802.11g 準拠の無線区間を高速化する技術 (Super AG) に対応しています。
- SC-32NE は無線 LAN アクセスポイントの Super AG 設定を自動判別して動作します。なお、使用するパソコンやサーバの環境や能力、周囲の電波環境などにより通信速度が速くならないことがあります。

「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」の設定をする

Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 設定】から、本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」の設定を行います。

- 1 【無線 LAN アクセスポイント設定】の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」にチェックを入れる



- 2 【設定】をクリックする

- 3 【登録】をクリックする



5
無線LANのご利用について

6

本商品のバージョンアップ

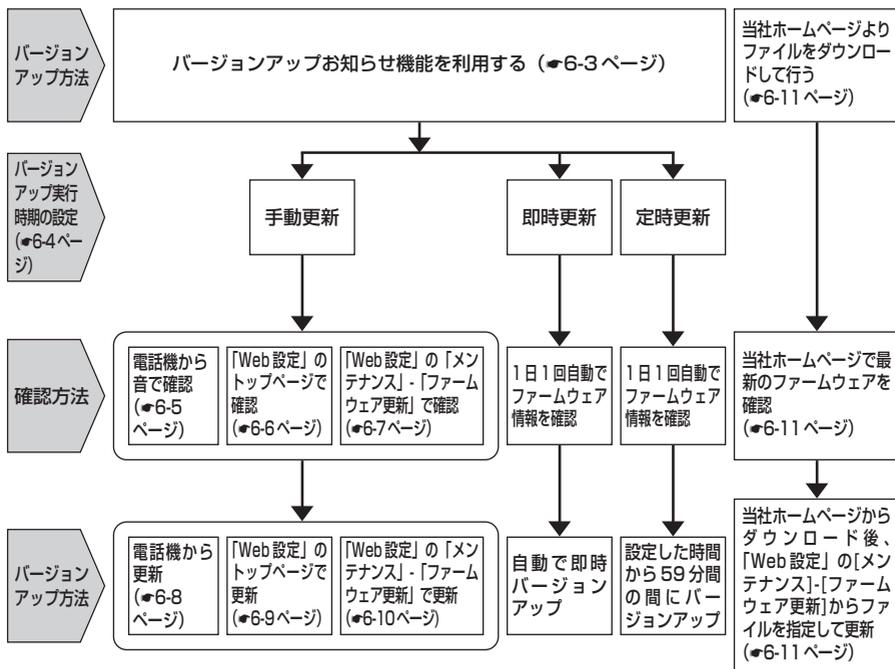
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

- 6-1 本商品のバージョンアップの流れ ……………6-2
- 6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする ……………6-3
- 6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする ……………6-11

6-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。



お知らせ

- 本商品は工場出荷状態で起動したとき、自動的にバージョンアップお知らせサーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を確認します。

最新のファームウェアが公開されている場合は、「まるごと設定ツール」、「Web 設定」、「電話機」から本商品のバージョンアップを行ってください。

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。バージョンアップ方法には以下の2通りの方法があります。

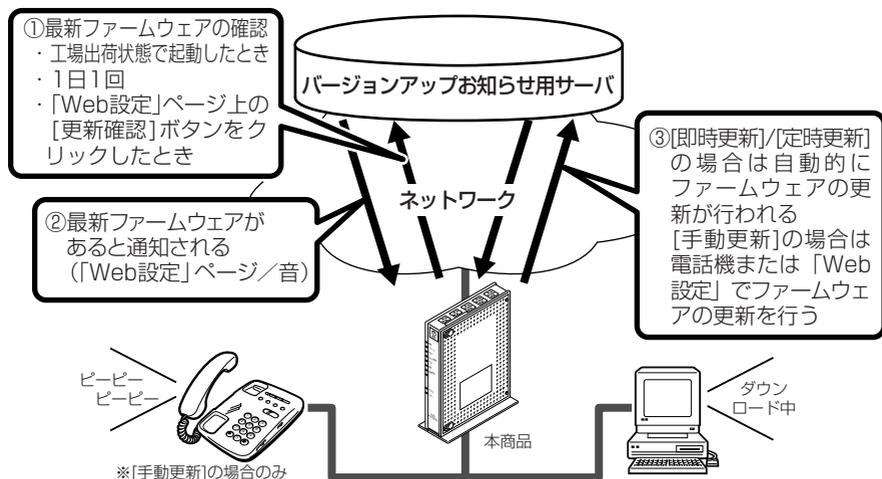
- バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛下記）
 - 1.バージョンアップお知らせ機能の機能概要
 - 2.バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する
 - 3.最新のファームウェアがあるか確認する
 - 4.バージョンアップ方法
- 当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛6-11ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。この機能は、本商品を工場出荷状態で起動したとき、定期的に1日1回、および「Web設定」の画面で「更新確認」ボタンをクリックしたときに動作します。

最新ファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

- 本商品の「Web設定」（「トップページ」および「メンテナンス」－「ファームウェア更新」）にて確認する
（「更新されたファームウェアが公開されています。・・・」と表示されます）
- 本商品に接続された電話機のハンドセットを取りあげた際の音で確認する
（「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます）
※「手動更新」の場合のみ



バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。

※設定した時間に自動的にバージョンアップを行う [定時更新] に設定することをお勧めします。

【ファームウェア更新種別】	
即時更新	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、すぐに自動的にバージョンアップを行います。 ※ [更新確認] をクリックした場合は、最新のファームウェアが公開されていても、バージョンアップは行いません。すぐにバージョンアップを行いたい場合は、[ファームウェア更新] をクリックしてください。
定時更新	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、設定した [定時更新時間] から59分間の間に自動的にバージョンアップを行います。
手動更新 (初期値)	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを「Web 設定」の画面、「電話機のハンドセットを取りあげた際の音」でお知らせします。バージョンアップは、「Web 設定」ページ (●6-9 ページ) または電話機 (●6-8 ページ) から行います。

1 「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

2 [メンテナンス]の▼をクリックし、[ファームウェア更新]をクリックする

3 [ファームウェア更新種別]で [即時更新/定時更新/手動更新] から選択する



4 [定時更新]を選択した場合は、[定時更新時間]を設定する

5 [設定]をクリックし、[登録]をクリックする



お知らせ

- バージョンアップ中（数分間）はインターネット接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- 「即時更新」、「定時更新」を選択した場合は、自動的にバージョンアップが行われます。なお、自動バージョンアップ中は、通話ができません、その間は緊急通報などもかけることができませんのでご注意ください。

最新のファームウェアがあるか確認する（[手動更新]の場合）

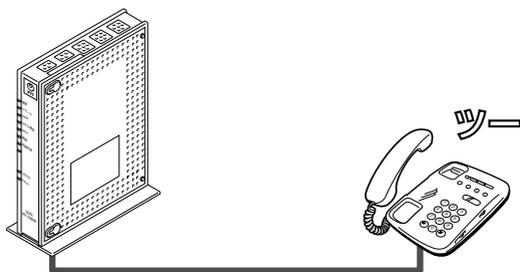
〈電話機からの音で確認する場合〉

[ファームウェア更新種別]を[手動更新]に設定した場合（☛6-4 ページ）電話機の音で最新のファームウェアがあるか確認できます。確認は本商品の電話機ポートに接続された電話機から行ってください。

●最新ファームウェアがないとき

電話機のハンドセットを取りあげると「ツー」という音が聞こえます（通常と変わりはありません）。

※電話機の発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。

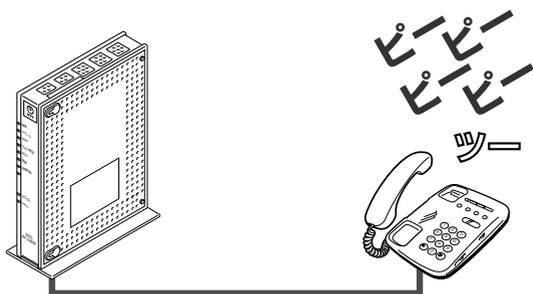


●最新ファームウェアがあるとき

電話機のハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。

※電話の発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。

※ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。



ファームウェアを更新する場合は、電話機または「Web 設定」で行います。

電話機の場合：☛6-8 ページへお進みください。

「Web 設定」の場合：

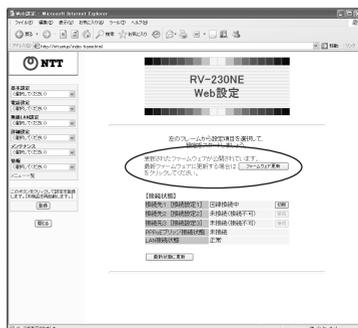
「Web 設定」ページ（<http://ntt.setup/>）を開き、「バージョンアップ方法」→「Web 設定」のトップページで更新する場合（☛6-9 ページ）へお進みください。

〈「Web 設定」のトップページで確認する場合〉

〔ファームウェア更新種別〕を〔手動更新〕〔定時更新〕に設定した場合、表示されます。

1 「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

2 トップページに「更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は〔ファームウェア更新〕をクリックしてください。」と表示される



※ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。



ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」— 〈「Web 設定」のトップページで更新する場合〉 (☛6-9ページ) へお進みください。

「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で確認する場合

「ファームウェア更新種別」を「手動更新」「定時更新」に設定した場合、表示されます。

1 「Web 設定」ページ (http://ntt.setup/) を開く

2 「メンテナンス」の  をクリックし、「ファームウェア更新」をクリックする

3 「ファームウェア更新情報」に「更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は「ファームウェア更新」をクリックしてください。」と表示されることを確認する



- ※最新の状態を確認するには、「更新確認」をクリックしてください。
- ※「即時更新」が選択されている場合も「更新確認」をクリックした時点では、ファームウェアは更新されません。
ファームウェア更新情報が更新されます。



ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」－「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で更新する場合 (☞6-10 ページ) へお進みください。

6

本商品のバージョンアップ

バージョンアップ方法（[手動更新] の場合）

[手動更新] の場合、「最新のファームウェアがあるか確認する」（●6-5ページ）で最新ファームウェアの提供が確認されたら、それぞれの手順に従って更新を行ってください。

〈電話機から更新する場合〉

電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合には、更新されたファームウェアがあります。本商品の電話機ポートに接続された電話機から、下記の手順で行ってください。

- 1 電話機のハンドセットを取りあげる
- 2 電話機のダイヤルボタンを「* * * * 1 1」と押す

- 3 「ブブ、ブブ、・・・」という音が聞こえたら、ハンドセットを置く



ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

お知らせ

- 電話機からバージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください（「PB」にできない電話機からは、バージョンアップできません）。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合でも、通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。
- ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。
- バージョンアップ中は、本商品のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。その後、アラームランプと初期状態ランプは消灯し、通常のランプ表示に戻ります。

「Web 設定」のトップページで更新する場合

「Web 設定」のトップページに更新ファームウェア情報が表示されています。

1 「ファームウェア更新」をクリックする



ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。

ファームウェアのダウンロードが始まり、引き続きファームウェアの更新が始まります。



ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

2 [OK] をクリックする

電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ <http://www.ntt-east.co.jp/ced>

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

2 「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

3 「メンテナンス」の をクリックし、「ファームウェア更新」をクリックする

4 「ファイル指定」の「参照」をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

[現在のバージョン] には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 「更新」をクリックし、「OK」をクリックする



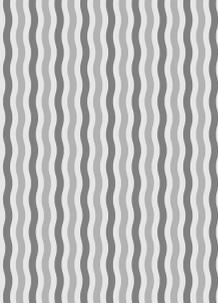
しばらくすると、「Web 設定」の画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源を OFF にしないでください」と表示されます。



ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

6 「OK」をクリックする
電源ランプが緑点灯していることを確認してください。





7

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 7-1 設置に関するトラブル……………7-2
- 7-2 ご利用開始後のトラブル……………7-7

7-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→いいえ (a 参照)
↓はい	
本商品前面のアラームランプは消灯していますか？	→いいえ (b 参照)
↓はい	
本商品前面の FAIL ランプが消灯していますか？	→いいえ (c 参照)
↓はい	
本商品前面の VDSL ランプは緑点灯していますか？	→いいえ (d 参照)
↓はい	
本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？	→いいえ (e 参照)
↓はい	
本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？	→いいえ (f 参照)
↓はい	
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？	→いいえ (g 参照)
↓はい	
ひかり電話が使えますか？	→いいえ (h 参照)
↓はい	
本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？	→いいえ (i 参照)
↓はい	
パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ (IP アドレスの確認方法は、4-4 ページ、8-4 ページ、8-6 ページ、8-7 ページ、8-8 ページをご覧ください)	→いいえ (j 参照)
↓はい	
Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？	→いいえ (k 参照)
↓はい	
設定後、本商品前面の PPP ランプが緑点灯していますか？	→いいえ (l 参照)
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ (m 参照)

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます）。 ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのバージョンアップ中です。バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.FAILランプが消灯していない

症状	原因と対策
FAILランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

d.本商品前面のVDSLランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
VDSLランプが緑点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●壁のモジュラージャックと本商品のVDSL LINEポートが正しく接続されていることを確認してください。 ●接続しているモジュラーケーブルVDSL LINE用（灰色）が正しいことを確認してください。 ●接続しているモジュラーケーブルVDSL LINE用（灰色）がショート、断線などしていないことを確認してください。 ●本商品と同時にインラインフィルタに接続したアナログ電話機をお使いの場合、アナログ電話機とインラインフィルタが正しく接続されているか確認してください。
VDSLランプが消灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●30秒間以上継続して消灯しているときは、本商品が故障しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

e.本商品前面のACTランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
ACTランプが消灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品側面カバー内のケーブル接続がされていない場合は、ACTランプは消灯します。この場合は、ひかり電話の機能、内蔵のルータ機能はご利用になりません。

f.本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
登録ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●ひかり電話の設定がされていません。そのまましばらくお待ちください。 ●ひかり電話開通日前からインターネット接続などを利用される場合は、電源を入れてから30分程度お待ちいただく場合があります。ひかり電話の設定が終了していないとき（登録ランプが消灯または緑点滅）はインターネット接続できません。 ●また、「まるごと設定ツール」や「Web設定」で設定を行うことはできません。
登録ランプが緑点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。
登録ランプが赤点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品のVDSL回線側を中心に接続構成を確認してください。VDSL LINEポートにモジュラーケーブルVDSL LINE用（灰色）が正しく接続されていることを確認してください。 ●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●初期状態ランプが橙点滅しているか確認してください。初期状態ランプが橙点滅している場合は、LAN側IPアドレス（サブネット）がひかり電話のIPアドレス（サブネット）と重複しています。「Web設定」の「詳細設定」－「LAN側設定」の「LAN側IPアドレス」を変更して設定してください。

g.本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

h.ひかり電話が使えない

症状	原因と対策
ひかり電話が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。詳しくは、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などである場合、または電話機のACR機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6分～10分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を再度入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

i. 本商品背面のLINKランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
LINKランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ● LANボードまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LANケーブル（緑色）が本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● 本商品に付属しているLANケーブル（緑色）をお使いください。 ● 「Web設定」の「詳細設定」－「高度な設定」で「LAN側MDI/MDI-Xモード」を「自動設定」または「MDI固定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X固定」です。） ● 再度本書の「2-1 設置・接続」（●2-2ページ）をご覧くださいのうえ配線の確認をしてください。また、パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。

j. パソコンのIPアドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（●8-2ページ）をご覧くださいのうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 「8-1 パソコンのネットワーク設定」（●8-2ページ）をご覧くださいのうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

k. Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（●8-2ページ）をご覧くださいのうえ確認してください。 ● WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。（●4-5ページ） ● ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。（●4-5ページ） ● 複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web設定」ページは開きません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから本商品に割り当てられたグローバルIPアドレス（本商品のWAN側IPアドレス）（例えばhttp://200.200.200.1/）を入力してください。 ● ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ● 「Web設定」を行う際、「ファームウェアの更新確認ができません。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、再度、電源を入れ直してください。なお、ひかり電話の開通日以前に本商品の設定を行う場合は、電源を入れたあと、本商品前面の登録ランプが赤点灯または赤点滅するまで、数分～20分程度お待ちいただいたのち、設定を行ってください。 ● 「工事のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事のため本商品の設定はできません。

症状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> ●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript®」を有効に設定してください。(●4-6 ページ、8-9 ページ) ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(●1-7 ページ) をご覧のうえ確認してください。

l.本商品前面の PPP ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先の選択設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、接続したい接続先の情報（接続先ユーザー名、接続パスワード）が入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、「接続モード」を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。

m.インターネットに接続できない

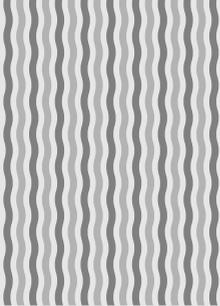
症状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●ネームサーバ (DNS サーバ) アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ (DNS サーバ) アドレスをプロバイダからの情報に従って「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス/フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●4-5 ページ) ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先の選択設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の【接続状態】が「回線接続中」となっていることを確認してください。

症 状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間を置いてから、アクセスしてください。 ● 接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.1.xxxは、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● LAN内に手動で設定しているIPアドレスがあるかどうか確認してください。 ● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう1台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <p>〈Windows® XPの場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。 ③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Windows® 2000の場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。 ③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Windows® Me/98の場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行(R)] をクリックします。 ② 「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。 ③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④ [解放(S)] をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になることを確認します。「IPアドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして⑥へ進んでください。 ⑤ [書き換え(N)] をクリックして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Mac OS Xの場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ② [TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。 ③ 再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、[今すぐ適用] をクリックします。 ④ [表示] を [内蔵Ethernet] にして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。

症 状	原因と対策
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない</p>	<p>● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」(● 8-2 ページ) をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順でIPアドレスを取り直してください。</p> <p>〈Windows® XPの場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② [ipconfig /renew] と入力して、[Enter] を押します。 ③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Windows® 2000の場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② [ipconfig /renew] と入力して、[Enter] を押します。 ③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Windows® Me/98の場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。 ② [winipcfg] と入力して [OK] をクリックします。 ③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④ [解放] をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になっていることを確認します。[IPアドレスはすでに解放しています] と表示されたときは [OK] をクリックして、⑥へ進んでください。 ⑤ [書き換え] をクリックして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 <p>〈Mac OS Xの場合〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ② [TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。 ③ 再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、[今すぐ適用] をクリックします。 ④ [表示] を [内蔵Ethernet] にして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。
<p>初期状態ランプが橙点減する</p>	<p>● LAN側IPアドレス(サブネット)がひかり電話のIPアドレス(サブネット)と重複しています。[Web設定]の[詳細設定] - [LAN側設定]の[LAN側IPアドレス]を変更して設定してください。</p>
<p>[Web設定]の[詳細設定] - [LAN側設定]の[LAN側IPアドレス]設定変更時に、IPアドレスが重複していると表示され、設定できない</p>	<p>● LAN側IPアドレス(サブネット)がひかり電話または接続先のIPアドレス(サブネット)と重複しています。[LAN側IPアドレス]を変更して設定してください。</p>

症 状	原因と対策
<p>「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」の「IP アドレス」設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）が LAN の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の「詳細設定」－「LAN 側設定」の「LAN 側 IP アドレス」を変更して設定してください。 ● ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「接続先設定」の IP アドレスを変更して設定してください。
<p>「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「接続状態」の「LAN 接続状態」に、ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の「詳細設定」－「LAN 側設定」の「LAN 側 IP アドレス」を変更して設定してください。 ● 「接続状態」の「接続先 1～3」に、ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
<p>ファームウェアの更新ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。（●6-8 ページ） ● 本商品のバージョンアップが行われている場合や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
<p>ハンドセットをあげると「ピーピーピー」と音がする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「    」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（●6-8 ページ）
<p>アラームランプが赤点灯する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのバージョンアップ中です。バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。 ● 本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
<p>Web 設定できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「Web 設定」を行う際、「ファームウェアの更新確認ができません。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、再度、電源を入れ直してください。 なお、ひかり電話の開通日以前に本商品の設定を行う場合は、電源を入れたあと、本商品前面の登録ランプが赤点灯または赤点減するまで、数分～20 分程度お待ちいただいたのち、設定を行ってください。 ● 「工事のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。

症 状	原因と対策
電話機からの設定がエラーとなる	<ul style="list-style-type: none"> ●ファームウェアの自動バージョンアップ実行中のとき、ファームウェアの自動バージョンアップ予約中、当社のひかり電話設備の工事中のときは、「ピピピピピピ・・・」とエラー音が鳴り、電話機からの設定は行えません。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知は設定できません。割込み音通知の設定を行うと「ピピピピピピ・・・」とエラー音が鳴ります。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込み音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
突然、再起動した	<ul style="list-style-type: none"> ●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
ハンドセットを置いたあとすぐに着信音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。 ●キャッチホンサービスや複数チャネルサービス「ダブルチャネル」で、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
ひかり電話の音声品質が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> ●「Web 設定」の「電話設定」－「ひかり電話共通設定」の「音声優先モード」を「優先」または「最優先」に設定します。
インラインフィルタに接続したアナログ電話機が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ●インラインフィルタと正しく接続されているか、接続しているポート（LINE ポート、TEL ポート）は正しいか確認してください。
無線 LAN 通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品側面の拡張カードスロットに SC-32NE が正しく装着されているか「5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け」（5-3 ページ）をご覧ください。 ●上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は SC-32NE の取扱説明書を参照してください。



8

付録

8-1	パソコンのネットワーク設定	8-2
8-2	無線 IP 端末の設定をする	8-10
8-3	本商品の初期化	8-11
8-4	ひかり電話以外のサービスとの 同時利用方法について	8-12
8-5	用語集	8-15
8-6	索引	8-21
8-7	仕様一覧	8-23
8-8	インタフェース	8-25
8-9	お客様サポートのご案内	8-27

8-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

- ・ Windows® XP をご利用の場合
→ 4-3 ページをご覧ください。
- ・ Windows® 2000 をご利用の場合
→ 8-3 ページをご覧ください。
- ・ Windows® Me/98 をご利用の場合
→ 8-5 ページをご覧ください。
- ・ Mac OS X をご利用の場合
→ 8-7 ページをご覧ください。
- ・ Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合
→ 8-8 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。

本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)の「Web 設定」の「詳細設定」－「LAN 側設定」をご覧ください。

■ Web ブラウザの設定 (Windows® のみ)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

- ・ Windows® をご利用の場合
→ 4-5 ページをご覧ください。

■ JavaScript® の設定確認

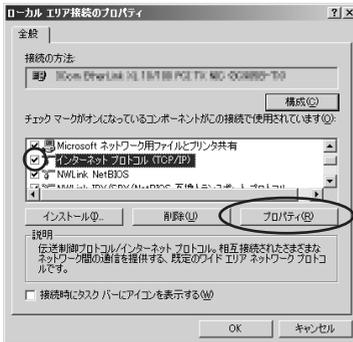
Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

- ・ Windows® をご利用の場合
→ 4-6 ページをご覧ください。
- ・ Mac OS をご利用の場合
→ 8-9 ページをご覧ください。

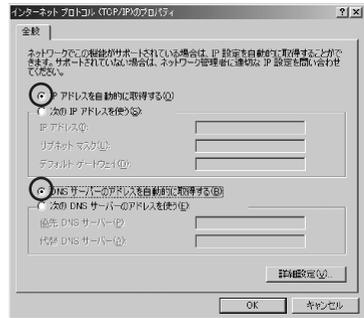
Windows® 2000 をご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



- 6 [OK] をクリックする

- 7 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する
- 2 パソコンの [スタート] – [プログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を実行する
- 3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、[ipconfig /renew] と入力して [Enter] キーを押す

- 4 [Ethernet adapter ローカル エリア接続 :] が表示され、IP アドレス (IP Address) が [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (xは1を除く任意の数字です)



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.00.2195]
(C) Copyright 1985-2006 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . . . . . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.1.3
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```

- 5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

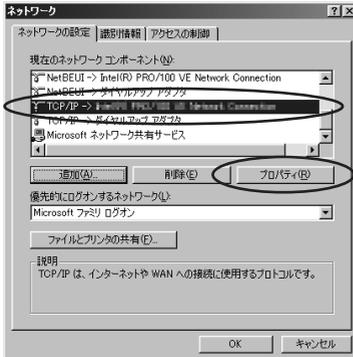
Windows® Me/98 をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

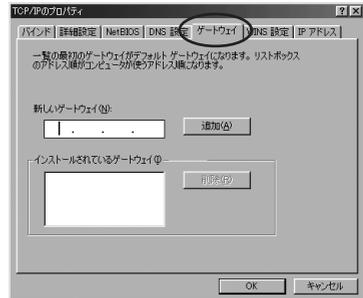
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



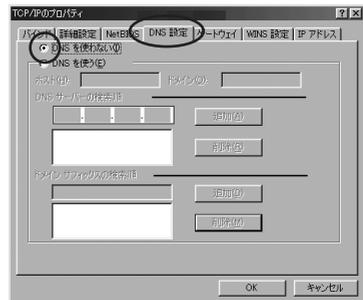
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] をクリックする

手順 4 ~ 6 で設定を変更した場合は、「再起動」を促すメッセージが表示されます。また、設定を有効にするためには、再起動が必要です。以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンを再起動してから確認してください。

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの[スタート]から[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「winipcfg」と入力後、[OK]をクリックする

3 下の画面が表示されたら、をクリックし、お使いのLANカード/ボードを選択する



4 IPアドレスが[192.168.1.xxx]となっていることを確認する(xは1を除く任意の数字です)



5 [OK] をクリックする

Mac OS X をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[TCP/IP] タブをクリックして、[IPv4 の設定] を [DHCP サーバを参照] にする
- 3 [DHCP クライアント ID] と [DNS サーバ]、[検索ドメイン] を空白にする



- 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 - パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 3 [TCP/IP] タブをクリックして、IP アドレスが [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (x は 1 を除く任意の数字です)

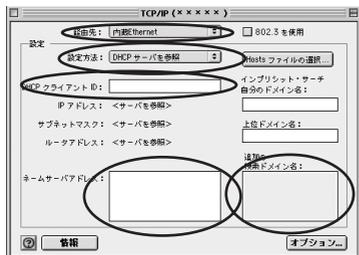


- 4 ウィンドウを閉じる

Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

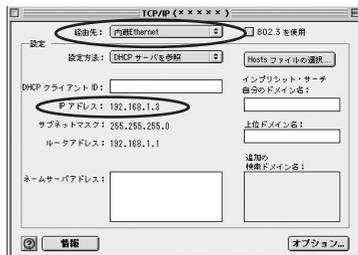
- 1 アップルメニューの【コントロールパネル】の【TCP/IP】を開く
- 2 【経路先】を【内蔵 Ethernet】にする
- 3 【設定方法】を【DHCPサーバを参照】にし、【DHCPクライアントID】と【名前サーバアドレス】、【追加の検索ドメイン名】を空白にし、ウィンドウを閉じる



- 4 確認のダイアログが表示されたら【保存】をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 - パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから【コントロールパネル】 - 【TCP/IP】を選択する
- 3 【経路先】を【内蔵 Ethernet】にして、IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.1.xxx」になっていることを確認する（xは1を除く任意の数字です）



- 4 ウィンドウを閉じる

JavaScript® の設定をする (Mac OS)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS をご利用の場合です。Windows® をご利用の場合は、4-6 ページをご覧ください。

※Web ブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS で Netscape® Ver.7.1 を使用している場合の例です。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの [Netscape] - [環境設定] をクリックする

3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



5 [OK] をクリックする

6 メニューバーの [Netscape] から [Netscape を終了] をクリックし、Netscape® を終了させる

8-2 無線 IP 端末の設定をする

本商品の無線 LAN の設定情報を次の手順で作成します。

無線 LAN の設定情報は、ひかり電話に対応した無線 IP 端末などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。

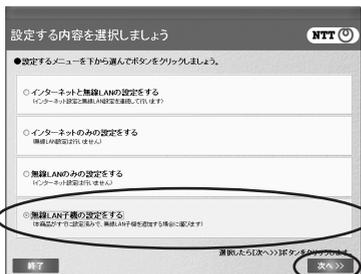
1 「まるごと設定ツール」を起動する

[スタート] - [すべてのプログラム]
(Windows® 2000 では [プログラム]) - [RV-230NE まるごと設定ツール] - [まるごと設定ツール] の順にクリックしてください。

Windows® XP/2000 で「まるごと設定ツール」を使用する場合、管理者権限を持つユーザー (Administrator など) でログオンしてください。

2 [設定を開始する] をクリックする

3 [無線 LAN 子機の設定をする] をクリックし、[次へ] をクリックする



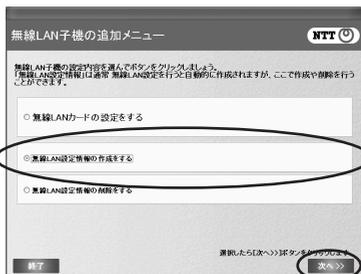
4 接続を確認し、[次へ] をクリックする

5 「機器設定用パスワードを入力します」の画面が表示されるので「機器設定用パスワード」を入力し、[次へ] をクリックする

6 「無線 LAN 設定を開始します」の画面が表示されるので、[次へ] をクリックする

7 「無線 LAN 設定情報の作成をする」を選択し、[次へ] をクリックする

※無線 LAN 設定情報を削除する場合は、ここで「無線 LAN 設定情報の削除をする」を選択します。



8 「無線 LAN 設定情報作成のための準備をしましょう」の画面が表示されるので、内容を確認し、[次へ] をクリックする

9 「無線 LAN 設定情報の作成が完了しました」の画面が表示されるので、内容を確認し、[終了] をクリックする

無線 LAN 設定情報が作成されます。

8-3 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷状態に戻すことをいいます。「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)の「Web 設定」の「メンテナンス」－「設定値の初期化」をご覧ください。本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の設定が行われます。ひかり電話の設定が完了すると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の設定がされている状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

■ 設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

- 1 いったん本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
- 2 10 秒以上たってから、電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む
- 3 本商品前面の VDSL ランプと FAIL ランプをのぞく全ランプが点灯している間に、本商品背面の初期化スイッチを押す（初期状態ランプが橙点灯するまで押し続ける）

起動後、初期状態ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

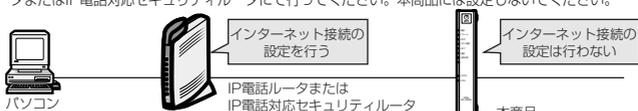


お知らせ

- 本商品に設定する接続先ユーザー名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

【ご利用上の注意事項】

前ページの構成でひかり電話と050IP電話およびフレッツ・セーフティをご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

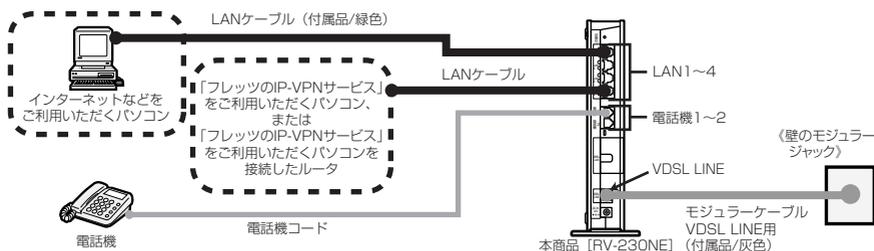
対象となる機器構成			注意事項
1-①	1-②	2	
	★	★	<p>(1) インターネット接続の設定方法に注意してください。</p> <p>インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザー名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティーラータにて行ってください。本商品には設定しないでください。</p>  <p>※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティーラータの設定ガイドをご覧ください。</p> <p>※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティーラータに接続してください（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。また、本商品に接続したパソコンは、フレッツ・セーフティをご契約であっても、ウイルスチェック機能や不正アクセス対策機能をご利用いただけません）。</p>
★	★		<p>(2) 本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部をご利用いただくことができません。</p> <p>050IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティーラータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。</p> <p>本商品の「ファームウェア更新種別」を「定時更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。</p> <p>※1-①の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください（図の点線部の構成）。</p> <p>※1-②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください（図の点線部の構成）。</p>
★	★		<p>(3) 「ひかり電話」と「050IP電話」の使いわけにご注意ください（050IP電話ご利用時）。</p> <p>050IP電話で接続できない番号（110・119など）以外は、全て050IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の050IP電話ご利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティーラータの取扱説明書をご確認ください（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください）。</p>
	★	★	<p>(4) 本商品の「PPPoEブリッジ」の設定変更は行わないでください。</p> <p>本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。</p>
★			<p>(5) 本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。</p> <p>本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「使用する」設定となっております。前ページの機器構成1-①にてご利用いただく場合は、本機能の設定変更は行わないでください。</p>

「フレッツのIP-VPNサービス」※との同時利用方法について

「フレッツ・グループアクセス (NTT東日本)」、「フレッツ・グループ (NTT西日本)」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス (NTT東日本/NTT西日本)」、「フレッツ・アクセスポート (NTT東日本)」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツのIP-VPNサービス」とは、「フレッツ・グループアクセス (NTT東日本)」、「フレッツ・グループ (NTT西日本)」、「フレッツ・オフィス (NTT東日本/NTT西日本)」、「フレッツ・アクセスポート (NTT東日本)」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルーター・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。



◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルーターを、本商品の下部 (LANポート) に接続し、そのブロードバンドルーター下部 (LANポート) に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネットなどの接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

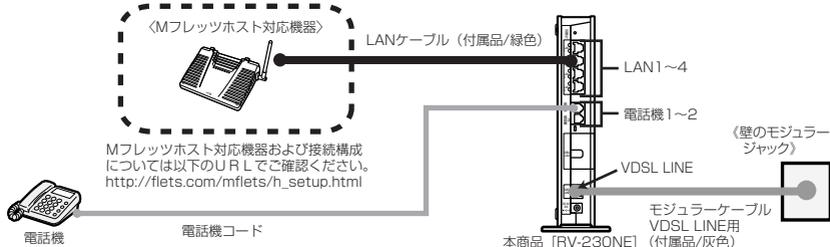
※「まるごと設定ツール」を使用してインターネットの接続設定を行うと、「フレッツのIP-VPNサービス」との同時利用ができない場合があります。

【ご利用上の注意事項】

・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。

「Mフレッツホスト (NTT 東日本)」との同時利用方法について

Mフレッツホストとひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず下記の内容をご確認ください。



【ご利用上の注意事項】

・ひかり電話とMフレッツホストを同時利用する場合、必ず本商品にインターネットの接続設定を行ってください。

・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。

8-5 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

AES	Advanced Encryption Standard の略。 WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。AES は TKIP や WEP と比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY 接続拒否	無線 LAN 端末からの ANY 接続（どの無線 LAN アクセスポイントにも接続できる特殊な SSID）を拒否する機能。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocol の略。 PPP で接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAP と異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。 RFC1994 で仕様が公開されている。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP プロトコルを使用する各機器は、固有の IP アドレスを持つ必要がある。DHCP は、IP アドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、IP アドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IP アドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCP クライアント	DHCP サーバにより IP アドレスを割り当てられるシステム。
DHCP サーバ	DHCP を用いて IP アドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DMZ	DeMilitarized Zone の略。 不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部（WAN 側）とも内部（LAN 側）とも切り離された区域のこと。
DNS	Domain Name System の略。 IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNS サーバ	ホスト名と IP アドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせに IP アドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11a	無線 LAN の規格の 1 つ。 5.2GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大 54Mbps。IEEE802.11b より大幅に高速になっている。
IEEE802.11b	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 11Mbps。

IEEE802.11g	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 54Mbps。 IEEE802.11a よりも広い範囲で高速な通信ができる。
IP	Internet Protocol の略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bit の値をもち、8 bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.1.10）。
IP マスカレード	NAT（IP アドレス変換）機能の 1 つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1 つの WAN 側 IP アドレスに対して複数の LAN 側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Network の略。 1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MAC アドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LAN カードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MAC アドレスフィルタリング	無線 LAN 通信においてサーバが通信できる MAC アドレスを指定し、通信を受けたくない無線 LAN 端末などからの通信を防ぐ機能。
NTP	Network Time Protocol の略。 ネットワークを介して時刻を調整するプロトコル。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在する NTP サーバを介して時刻を調整する。
PAP	Password Authentication Protocol の略。 PPP リンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。 RFC1334 で仕様が公開されている。
PING	「ピング」と呼ぶ。 端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。
PPP	Point to Point Protocol の略。 遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernet の略。 ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術。Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者の接続先ユーザー名や接続パスワードのチェックを行う。
SIP	Session Initiation Protocol の略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。 RFC3261 で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocol の略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットや LAN で一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。TKIP は、WEP でも使用されている RC4 という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Play の略。 パソコンや周辺機器、AV 機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
VDSL	Very high-bit-rate Digital Subscriber Line または Very high-speed Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバを利用する。
VoIP	Voice over Internet Protocol の略。 インターネットやイントラネットのような IP ネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内 LAN を使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Network の略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。

WAN	Wide Area Network の略。 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザーが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 現在無線 LAN で広く使われている通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key の略。 WPA セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。Pre-Shared Key を使うので、認証サーバを用意しなくても WPA セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbit/s の伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbit/s の伝送速度をもつ。
【あいうえお順】	
【あ行】	
イーサネット (Ethernet)	LAN の通信方式。10BASE-T や 100BASE-TX などの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線 LAN 端末から無線 LAN アクセスポイントを経由して行う無線 LAN の通信。
【か行】	
回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。B フレッツでは ONU (Optical Network Unit) などを指す。
クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど) を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なる LAN どうしや LAN と WAN とを接続する装置。

【さ行】**サーバ**

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

サブネット

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。

自動設定

本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。

自動設定サーバ

本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。

静的IPマスカレード

IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

セッション

ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】**チャンネル**

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャンネルどうしの帯域が重ならないような使用を推奨する。

ドメイン

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。
ひかり電話	NTT 東日本／NTT 西日本提供の IP 電話サービス。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
フレッツ・コネクト	B フレッツ、フレッツ・ADSL をご利用のお客様どうしによる、IP 電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービス。NTT 東日本エリア全域のご利用者に提供をしている。
フレッツ・スクウェア	B フレッツ、フレッツ・光プレミアム※、フレッツ・ADSL、フレッツ・ISDN をご利用のお客様専用のサイト。 ※フレッツ・光プレミアムは NTT 西日本のサービス。
プロキシサーバ	各装置から SIP プロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。
ポート番号	TCP/IP において、ユーザーやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線 LAN アクセスポイント	有線 LAN とインフラストラクチャ通信に設定した無線 LAN 端末との通信の中継や、無線 LAN 端末どうしの通信の管理を行う。
無線ネットワーク名 (SSID)	SSID は Service Set Identifier の略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名 (SSID) を設定して使用する。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

 の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

【数字】

050IP 電話	8-12
10/100BASE-T ランプ	1-6

【A～Z】

ACT ランプ	1-4、3-2
ANY 接続拒否	5-4、5-11
FAIL ランプ	1-4
IP アドレス	4-4、8-4、8-6、8-7、8-8 
IP アドレスの確認	
Mac OS 9.x/8.x	8-8
Mac OS X	8-7
Windows® 2000	8-4
Windows® Me/98	8-6
Windows® XP	4-4
IP マスカレード	8-16、 
JavaScript®	4-6、8-9
LAN ケーブル	1-2
LAN ポート	1-6、8-23、8-26
パソコンの LAN ポート	1-7
LINK ランプ	1-6
M フレッツホスト	8-14
PPP ランプ	1-4
PSK	5-4
RV-230NE 専用 CD-ROM	20、23、1-2
SC-32NE	15、1-3、1-7、5-3
SSID	5-4、5-11
TKIP	5-4
UPnP 	
VDSL LINE ポート	1-6、2-4、2-6、2-8、8-23、8-25
VDSL ランプ	1-4、3-2
VPN パススルー 	
Web 設定 	4-8、
Web ブラウザ	1-7、4-5
WEP 	
WPA-PSK	5-4

【ア行】

アラームランプ	1-4
---------	-----

一斉着信	3-19
インタフェース	8-25
お客様サポート	8-27

【カ行】

回線に接続する	2-4
拡張カードスロット	5-3
各部の名前	1-4
壁に取り付ける	2-3
機器設定用パスワード	4-8
機能詳細ガイド	20
キャッチホン	3-6
クライアント	8-18、 
故障かな？と思ったら	7-1
固定 IP アドレス 	
個別着信	3-18
ご利用開始後のトラブル	7-7
コンピュータ名/ワークグループ名 	

【サ行】

サーバ	8-19、 
指定着信機能	3-21
仕様一覧	8-23
初期化	8-11
初期化スイッチ	1-6、8-11
初期状態ランプ	1-4
スタンド	1-2、2-2
静的 IP マスカレード	8-19、 
静的 NAT 	
接続	
LAN に～するための準備 	
インターネットに～する	4-11
回線に～する	2-4
フレッツ・スクウェアに～する	4-12
本商品とパソコンの～を確認する	4-4、8-4、8-6、8-7、8-8
無線 LAN アクセスポイントへの～	5-9
接続先ユーザー名	4-9、 
接続パスワード	4-9、 
設置する	2-2

設置に関するトラブル	7-2
設定する	
JavaScript®	4-6、8-9
Web ブラウザ	4-5
電話機でひかり電話の～	3-22
内線番号	3-18
パソコンでひかり電話の～	3-10
パソコンのネットワーク	
Mac OS 9.x/8.x	8-8
Mac OS X	8-7
Windows® 2000	8-3
Windows® Me/98	8-5
Windows® XP	4-3
複数の電話機での同時着信や	
使い分けを～	3-24
本商品の設定	4-8
無線 IP 端末	8-10
無線 LAN	5-4
無線 LAN カード	5-5
セットの確認	1-2

【タ行】

対応 OS の確認	1-7
ダイヤルイン	3-19
着信鳴り分け	3-19
追加番号サービス「マイナンバー」	3-9
電源アダプタ	1-2
電源アダプタコード端子	1-6
電源ランプ	1-4、3-2
電子マニュアル	23
電話機ポート	1-6、8-25
登録ランプ	1-4、3-2

【ナ行】

内線通話	3-5
内線転送	3-5
ナンバー・ディスプレイ	3-7
ネットワークコンポーネント	
ネットワーク対応アプリケーション	

【ハ行】

バージョンアップ	6-1
----------	-----

当社ホームページよりファイルを	
ダウンロードして～する	6-11
バージョンアップお知らせ機能を	
利用して～する	6-3
パケットフィルタリング	
パソコンの準備	1-7
発信者情報（番号）の通知	3-8
ひかり電話	
受けかた	3-3
かけかた	3-2
接続できる番号	3-4
設定	3-10、3-22、3-24
使いかた	3-2
電話番号	3-18
発着信できるサービス	3-4
ひかり電話以外の	
サービスとの同時利用	8-12
付加サービス	3-6
ひかり電話ランプ	1-4、3-2
複数チャンネルサービス「ダブルチャンネル」	
	3-9
フッキング	3-5、3-6
フレッツ・セーフティ	8-12
フレッツの IP-VPN サービス	8-14

【マ行】

まるごと設定ツール	
	23、1-8、2-10、8-10
マルチセッション	
無線 IP 端末	8-10
無線 LAN カード	1-3、5-3、5-5
設定	5-5
取り付け	5-3
取り外す	5-3
無線 LAN の設定	5-4
モジュラーケーブル	1-2

【ヤ行】

優先着信ポート	3-20
用語集	8-15

【ラ行】

ランプ表示	1-4、1-5、1-6、3-2
-------	-----------------

8-7 仕様一覧

■ RV-230NE

■ ハードウェア仕様		
項目	仕様	
VDSL LINE ポート	インタフェース	VDSL
	伝送線路	2W メタリックケーブル
	変調/多重方式	DMT 変調/FDD 方式
	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
	通信速度	下り最大 100Mbps、上り最大 100Mbps 対称伝送
VDSL LAN ポート	インタフェース	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
LAN ポート	インタフェース	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	4 ポート (スイッチングハブ内蔵)
無線 LAN ポート	インタフェース	PC Card Standard (Card Bus) スロット ※オプションの無線 LAN カード SC-32NE 専用
	スロット数	1 スロット
電話機 ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約 - 48 V (無負荷時)
ランプ 表示	電源ランプ	電源通電時緑点灯
	アラームランプ	装置障害時赤点灯
	PPP ランプ	1 セッション接続中緑点灯、2 セッション以上接続中橙点灯
	ひかり電話ラ ンプ	ひかり電話利用可能時緑点灯、 ひかり電話通話中/着信中/呼び出し中緑点滅
	ACT ランプ	ひかり電話機能/ルータ機能利用可能時緑点灯、 ひかり電話機能/ルータ機能でデータ通信中緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時緑点灯、 ひかり電話設定中緑点滅、ひかり電話設定失敗時赤点灯/赤点滅
	初期状態ランプ	工場出荷状態橙点灯、IP アドレス重複時橙点滅
	VDSL ランプ	VDSL 回線リンク確立時緑点灯 VDSL 回線トレーニング時緑点滅
	FAIL ランプ	装置障害時赤点灯
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
筐体外観	縦置き壁掛け両用型	
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：20～80% (結露しないこと)	
外形寸法	約 40 (W) × 175 (D) × 230 (H) mm (突起部分を除く)	
電源	AC100 ± 10 V 50/60 Hz	
消費電力	最大 13 W	
質量	約 1.3 kg (電源アダプタ含む)	
電磁妨害波規格	VCCI クラス B	

■ ソフトウェア仕様

項 目		仕 様
ルータ機能	WANプロトコル	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP 固定 / PAP 固定
	PPP 認証	PPPoE (PPP over Ethernet)
	PPP 接続 / 切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断)
	接続先数	登録 : 3 箇所、同時接続 : 3 箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (最大 40 経路)、 ダイナミックルーティング (RIP / RIP2) : LAN 側のみ
	DHCP サーバ機能	あり (最大 255 アドレス割当)
	Proxy DNS 機能	あり (LAN 側 DNS サーバ指定可)
	NAT 機能	IP マスカレード : 最大 2048 セッション、 静的 NAT : 最大 20 アドレス
	静的 IP マスカレード機能	あり (ポート番号の範囲指定可)
	ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 機能	あり
	DMZ ホスト機能	あり (LAN 側 IP アドレス指定による)
	複数固定 IP サービス対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、 プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)、不正アクセス検出機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)	
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoE パケット、IPv6 パケット
VoIP 機能	接続手順	SIP
	音声 CODEC	ITU-T G.711 μ -law
	エコーキャンセラ	ITU-T G.165 / ITU-T G.168
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他
	時計機能	あり (NTP サーバによる自動時刻設定可)
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、電話機を使用

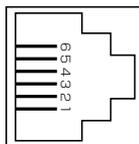
■ インラインフィルタ仕様

項 目		仕 様
TEL インタフェース	収容回線	1 回線
	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
LINE インタフェース	収容回線	1 回線
	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
動作環境	温度 : 0 ~ 40 °C 湿度 : 5 ~ 80 % (結露しないこと)	
外形寸法	約 82 (W) × 26 (D) × 24 (H) mm (突起部分を除く)	
質量	35g 以下 (本体のみ)	

8-8 インタフェース

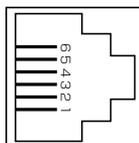
コネクタ形状

●電話機ポート



ピン番号	略称	入出力
1	—	未使用
2	—	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	—	未使用
6	—	未使用

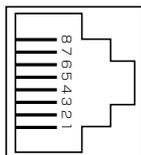
●VDSL LINE ポート



ピン番号	略称	入出力
1	—	未使用
2	—	未使用
3	A	入力/出力
4	B	入力/出力
5	—	未使用
6	—	未使用

● LAN ポート、VDSL LAN ポート
(100BASE-TX / 10BASE-T)

MDI-X



ピン番号	略称	入出力
1	TD +	入力
2	TD -	入力
3	RD +	出力
4	-	未使用
5	-	未使用
6	RD -	出力
7	-	未使用
8	-	未使用

MDI

ピン番号	略称	入出力
1	TD +	出力
2	TD -	出力
3	RD +	入力
4	-	未使用
5	-	未使用
6	RD -	入力
7	-	未使用
8	-	未使用

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： ☎ **0120-710444** (9:00～21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7200 (通話料金がかかります)

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンとの接続、パソコンの設定などに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： ☎ **0120-275466** (24時間 年中無休)

※携帯電話からは下記までお問い合わせください。

0570-005202

(24時間 年中無休 PHS・050IP電話・ひかり電話からのご利用できません。また通話料がかかります。)

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： ☎ **0120-242751** (24時間 年中無休*)

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

- 本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-710444** (9:00~21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7200 (通話料金がかかります)

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

- パソコンとの接続、パソコンの設定などに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-275466** (24時間 年中無休)

※携帯電話からは下記までお問い合わせください。

0570-005202

(24時間 年中無休 PHS・050IP電話・ひかり電話からはご利用できません。また通話料がかかります。)

- 故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-242751** (24時間 年中無休*)

※故障修理などの対応時間は9:00~17:00です。

©2006 NTEAST



本2814-3 (2006.12)

RV-230NEトリセツ

